

シラバス

2024年度
(9期生)



社会医療法人 天神会

古賀国際看護学院

KOGA International Nursing School

目 次

カリキュラム (年間計画)	1
講師別カリキュラム時間表	3
実務経験のある講師の一覧	6

1. 基礎分野

論理学	9
文化人類学	10
教育学	11
人間工学	12
情報科学	13
家族と社会学	14
心理学	15
人間関係論	16
国際関係論	17
カウンセリング論	18
スポーツレクレーション	19
中国語	20
英会話	21
医療英語	22

2. 専門基礎分野

解剖生理学Ⅰ (総論、消化器、呼吸器、血液・造血器、循環器)	23
解剖生理学Ⅱ (腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	24
解剖生理学Ⅲ (脳・神経、感覚器、女性生殖器)	25
生化学	26
栄養学	27
病理学	28
疾病論Ⅰ (呼吸器)	29
疾病論Ⅱ (循環器、血液・造血器)	30
疾病論Ⅲ (消化器、腎・泌尿器)	31
疾病論Ⅳ (内分泌・代謝)	32
疾病論Ⅴ (運動器、脳・神経)	33
疾病論Ⅵ (女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)	34
疾病論Ⅶ (皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔)	35

薬理学	36
微生物学	37
看護につなぐ	38
社会福祉	39
看護関係法令	40
公衆衛生	41
総合医療論	42
暮らしを支えるチームケア	43
看護の場を知る	44

3. 専門分野

看護学概論	45
看護理論	46
生活援助技術Ⅰ（看護技術とは 環境）	47
生活援助技術Ⅱ（清潔・衣生活）	48
生活援助技術Ⅲ（活動・休息）	49
生活援助技術Ⅳ（食事・排泄）	50
看護共通技術Ⅰ（コミュニケーション）	51
看護共通技術Ⅱ（ヘルスアセスメント）	52
看護共通技術Ⅲ（安全・安楽の技術）	53
看護共通技術Ⅳ（看護過程展開の技術）	54
診療の補助技術	55
暮らしと健康	56
地域を視る	57
地域保健活動	58
地域・在宅看護概論	59
地域・在宅看護方法論Ⅰ（在宅療養を支える技術）	60
地域・在宅看護方法論Ⅱ（状態別看護）	61
成人看護学概論	62
成人看護学方法論Ⅰ（慢性期看護）	63
成人看護学方法論Ⅱ（急性期看護）	64
成人看護学方法論Ⅲ（回復期看護）	65
老年看護学概論	66
老年看護学方法論Ⅰ（ADLに障害を有する高齢者の看護）	67
老年看護学方法論Ⅱ（疾病論 認知症を有する高齢者の看護）	68
小児看護学概論	69
小児看護学方法論Ⅰ（疾病論）	70
小児看護学方法論Ⅱ（健康問題を有する小児の看護）	71

母性看護学概論	72
母性看護学方法論Ⅰ（マタニティーサイクルにおける看護）	73
母性看護学方法論Ⅱ（周産期の医療と看護）	74
精神看護学概論	75
精神看護学方法論Ⅰ（疾病論）	76
精神看護学方法論Ⅱ（精神障害を有する対象の看護）	77
看護管理	78
医療安全	79
災害看護学・国際看護学	80
統合看護技術	81

4. 領域横断

看護研究	83
家族看護	84
気づきのトレーニング	85
薬物療法と看護	86
周術期と看護	87
エンド・オブ・ライフ・ケア	88

講師別カリキュラム時間表

教育内容	教科目	単位数	時間数	講師名	1年次		2年次		3年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基盤	論理学	1	30	中島 由美子		30				
		文化人類学	1	15	尾堂 修司	15					
		教育学	1	30	白石 義郎		30				
		人間工学	1	30	山本 耕之	30					
		情報科学	1	30	城戸 幸一	15	15				
	人間と生活・社会の理解	家族と社会学	1	30	中西 吉則	30					
		心理学	1	15	城戸 由香里		15				
		人間関係論	1	30	江藤 智佐子	30					
		国際関係論	1	15	古賀 幸久		15				
		カウンセリング論	1	15	松田 輝美			15			
		スポーツレクリエーション	1	15	永山 寛		15				
		中国語	1	15	沈 震			15			
英会話	1	15	満平 学		15						
医療英語	1	30	神代 良子				30				
単位・時間合計		14	315		120	135	30	30			
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ (総論、消化器、呼吸器、血液・造血、循環器)	1	30	木戸田 朋子	30					
		解剖生理学Ⅱ (腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	高園 真理子	4							
			本田 順一	12							
			前山 夕紀子	4							
			澁谷 統壽	6							
	平塚 善治		2								
	愛洲 紀子		2								
	解剖生理学Ⅲ (脳・神経、感覚器、女性生殖器)	林 明宏	6								
		川崎 友裕	6								
		平塚 善治	4								
		明比 祐子	8								
		高須 博	6								
	生化学	佐藤 秀明					8				
		杉島 正一					10				
	栄養学	原田 二朗					8				
		塚口 舞					4				
	平山 貴恵					16					
	作間 理恵子					14					
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1	15	西田 直代	15					
		疾病論Ⅰ 呼吸器	宮川 洋介	15							
			川崎 友裕	6							
			古賀 久士	12							
		疾病論Ⅱ 循環器	折田 義也	4							
			古賀 清和	2							
			末松 栄一	6							
		疾病論Ⅲ 消化器	中村 弘毅	10							
			高尾 貴史	4							
			池添 清彦	4							
			松本 有里子	8							
		疾病論Ⅳ 泌尿器	徳田 雄治	4							
			川崎 英二	8							
		疾病論Ⅴ 内分泌・代謝	廣松 雄治	8							
二之宮 謙一			6								
疾病論Ⅵ 運動器		幸田口 滋	10								
		一ツ松 勤	4								
		澁谷 統壽	6								
疾病論Ⅶ 脳・神経		石堂 克哉	4								
		菅沼 明彦	6								
	末松 栄一	8									
	中尾 佳史	8									
疾病論Ⅷ アレルギー・感染症	馬場 美樹	2									
	小野 研	4									
	白石 哲史	2									
疾病論Ⅸ 女性生殖器	皮膚					8					
	眼					8					
	耳鼻咽喉					6					
	歯・口腔					8					
疾病論Ⅹ 放射線	久保 昌平						14				
	安田 和樹						12				
薬理学	坂本 健太郎						4				
	原 好勇					16					
微生物学	黒岩 晃					14					
	池西 静江						6				
看護につなぐ	宮崎 亜矢子						8				
	樋口 美樹						6				
	高園 真理子						6				
	手島 淳介						4				
健康支援と社会保障制度	社会福祉	1	30	中野 繁広			30				
	看護関係法令	1	15	田中 圭子		15					
暮らしを支えるチームケア	公衆衛生	1	30	糸瀬 孝子		30					
	総合医療論	平松 義博				8					
		加藤 光樹				4					
藤堂 省					4						
暮らしを支えるチームケア	1	15	池西 静江					15			
看護の場を知る	西 恵美子										
	宮崎 亜矢子										
大久保 純子					15						
単位・時間合計		22	555		210	240	90		15		

教育内容	教科目	単位数	時間数	講師名	1年次		2年次		3年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎看護学	看護学概論	1	30	西 恵美子	30						
	看護理論	1	15	西 恵美子			15				
	生活援助技術Ⅰ(看護技術とは 環境)	1	15	高園 真理子 川原 千恵美	12 4						
	生活援助技術Ⅱ(清潔・衣生活)	1	30	森 真澄	30						
	生活援助技術Ⅲ(活動・休息)	1	15	福田 早苗	15						
	生活援助技術Ⅳ(食事・排泄)	1	30	樋口 美樹	30						
	看護共通技術Ⅰ(コミュニケーション)	1	15	高園 真理子	15						
	看護共通技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1	30	大久保 純子 手島 淳介	6		24				
	看護共通技術Ⅲ(安全・安楽の技術)	1	30	樋口 美樹 手島 淳介	14		16				
	看護共通技術Ⅳ(看護過程展開の技術)	1	30	宮崎 亜矢子 森 真澄			24 6				
診療の補助技術	1	30	川原 千恵美 手島 淳介			14 16					
地域・在宅看護論	暮らしと健康	1	15	近藤 加奈子	15						
	地域を視る	1	15	近藤 加奈子			15				
	地域保健活動	1	15	近藤 加奈子				15			
	地域・在宅看護概論	1	30	本村 和久 池田 敦子			2 28				
	地域・在宅看護方法論Ⅰ (在宅療養を支える技術)	1	30	近藤 加奈子 結城 千賀			20 10				
	地域・在宅看護方法論Ⅱ(状態別看護)	1	30	池田 敦子 結城 千賀				20 10			
成人看護学	成人看護学概論	1	30	大久保 純子		30					
	成人看護学方法論Ⅰ(慢性期看護)	1	30	野口 由紀子 萬野 恵美子 長主 貴大 大久保 純子			6 6 6 12				
	成人看護学方法論Ⅱ(急性期看護)	1	30	宮地 千加子 本川 満 岩本 雅俊 森 さつき 大久保 純子			6 6 8 6 4				
	成人看護学方法論Ⅲ(回復期看護)	1	30	高倉 望 林田 晶子 成富 耕治 樋口 美樹				6 6 6 12			
	老年看護学概論	1	30	福田 早苗		30					
	老年看護学方法論Ⅰ (ADLに障害を有する高齢者の看護)	1	30	真田 洋子			30				
小児看護学	小児看護学概論	1	30	西 恵美子 服部 道枝			10 20				
	小児看護学方法論Ⅰ(疾病論)	1	30	横田 吾郎 齋 知光			16		14		
	小児看護学方法論Ⅱ (健康問題を有する小児の看護)	1	30	服部 道枝				30			
母性看護学	母性看護学概論	1	30	林 桂子			30				
	母性看護学方法論Ⅰ (マタニティサイクルにおける看護)	1	30	池田 律子 林 桂子				8 22			
	母性看護学方法論Ⅱ (周産期の医療と看護)	1	30	山本 広子 愛洲 紀子 林 桂子			6 4		20		
精神看護学	精神看護学概論	1	30	相川 裕美 松永 嘉明			24 6				
	精神看護学方法論Ⅰ(疾病論)	1	30	児玉 英也			30				
	精神看護学方法論Ⅱ (精神障害を有する対象の看護)	1	30	相川 裕美				30			
看護の統合と実践	看護管理	1	15	田中 圭子 松家 貴美子 池末 直子					12 2 2		
	医療安全	1	30	坂田 真佐子 高園 真理子				20 10			
	災害看護学・国際看護学	1	30	服部 道枝 山崎 宏美 伊達 卓二 藤田 千代子				16 8 4 2			
	統合看護技術	1	15	森 真澄 福田 早苗 高園 真理子					2 2 2	2 2 4	
	単位・時間合計	37	975		150	165	345	225	82	8	
	専門分野	看護研究(領域横断)	1	30	森 由紀 真田 洋子					14	
家族看護(領域横断)		1	15	森 真澄			15			16	
気づきのトレーニング(領域横断)		1	30	池西 静江 高園 真理子			4 4	6			
				森 真澄 宮崎 亜矢子			4 4				
				服部 道枝				4			
薬物療法と看護(領域横断)		1	15	高園 真理子 福田 早苗				12 4			
周術期と看護(領域横断)		1	30	宮崎 亜矢子			30				
エンド・オブ・ライフ・ケア(領域横断)		1	15	松崎 千鶴 服部 道枝				14 2			
単位・時間合計	6	135				60	45	14	16		

教育内容		教科目	単位数	時間数	講師名	1年次		2年次		3年次		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	臨地実習	基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ(コミュニケーション)	1	45	森 真澄 高園 真理子 宮崎 亜矢子 樋口 美樹 手島 淳介	45					
			基礎看護学実習Ⅱ(看護過程の展開)	2	90	宮崎 亜矢子 森 真澄 高園 真理子 樋口 美樹 手島 淳介			90			
		地域・在宅看護論	地域・在宅看護論実習Ⅰ(地域包括支援センター)	1	32	池田 敦子 近藤 加奈子				32		
			地域・在宅看護論実習Ⅱ(訪問看護ステーション)	2	64	池田 敦子 近藤 加奈子					32	32
		成人看護学	外来における看護実習(成人看護学実習)	1	45	大久保 純子 樋口 美樹					30	15
			急性期における看護実習(成人看護学実習)	2	90	大久保 純子 樋口 美樹					45	45
		老年看護学	地域で暮らす高齢者のケア(老年看護学実習)	2	90	福田 早苗 真田 洋子				90		
			回復期・慢性期における看護実習(老年看護学実習)	2	90	福田 早苗 真田 洋子					45	45
			緩和ケア実習(老年看護学実習)	1	45	福田 早苗 真田 洋子					30	15
		地域支援	地域における母子保健実習			服部 道枝 林 桂子						
		小児看護学	小児看護学実習	2	64	服部 道枝 西 恵美子					32	32
		母性看護学	母性看護学実習	2	90	林 桂子 森 真澄					45	45
		精神看護学	精神看護学実習	2	90	相川 裕美 高園 真理子					45	45
			看護の統合と実践実習	2	90	森 真澄 高園 真理子 宮崎 亜矢子 樋口 美樹 手島 淳介						90
		単位・時間合計			22	925		45	0	90	154	304
総単位・時間合計			102	2937		525	540	615	454	416	387	

実務経験のある講師の一覧

科目	講師名	資格	実務経験年数	実務経験内容
情報科学	城戸 幸一		21	情報科学系企業にて勤務
心理学	城戸 由香里	公認心理師	27	施設にて公認心理師として勤務
解剖生理学Ⅱ(腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	本田 順一	医師	41	病院にて勤務
解剖生理学Ⅱ(腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	前山 夕紀子	医師	17	病院(消化器内科)にて勤務
解剖生理学Ⅱ(腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	澁谷 統壽	医師	57	病院(脳神経内科)にて勤務
解剖生理学Ⅱ(腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	平塚 義治	医師	53	病院(泌尿器科)にて勤務
解剖生理学Ⅱ(腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	愛洲 紀子	医師	19	病院(婦人科)にて勤務
解剖生理学Ⅱ(腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	高園 真理子	看護師	24	病院にて看護師として勤務
解剖生理学Ⅲ(脳・神経、感覚器、女性生殖器)	林 明宏	医師	41	病院(呼吸器外科)にて勤務
解剖生理学Ⅲ(脳・神経、感覚器、女性生殖器)	川崎 友裕	医師	36	病院(循環器内科)にて勤務
解剖生理学Ⅲ(脳・神経、感覚器、女性生殖器)	平塚 義治	医師	53	病院(泌尿器科)にて勤務
解剖生理学Ⅲ(脳・神経、感覚器、女性生殖器)	明比 祐子	医師	12	病院(内科)にて勤務
解剖生理学Ⅲ(脳・神経、感覚器、女性生殖器)	高須 博士	医師	8	病院(整形外科)にて勤務
栄養学	作間 理恵子	管理栄養士	24	病院(栄養課)にて勤務
栄養学	平山 貴恵	管理栄養士	17	病院(栄養課)にて勤務
病理学	西田 直代	医師	27	病院(病理診断科)にて勤務
疾病論Ⅰ(呼吸器)	宮川 洋介	医師	39	病院(呼吸器内科)にて勤務
疾病論Ⅱ(循環器、血液・造血器)	川崎 友裕	医師	36	病院(循環器内科)にて勤務
疾病論Ⅱ(循環器、血液・造血器)	古賀 清和	医師	20	病院(心臓血管外科)にて勤務
疾病論Ⅱ(循環器、血液・造血器)	折田 義也	医師	20	病院(循環器内科)にて勤務
疾病論Ⅱ(循環器、血液・造血器)	末松 栄一	医師	40	病院(内科)にて勤務
疾病論Ⅲ(消化器、腎・泌尿器)	中村 弘毅	医師	27	病院(消化器内科)にて勤務
疾病論Ⅲ(消化器、腎・泌尿器)	高尾 貴史	医師	32	病院(消化器外科)にて勤務
疾病論Ⅲ(消化器、腎・泌尿器)	池添 清彦	医師	30	病院(外科)にて勤務
疾病論Ⅲ(消化器、腎・泌尿器)	徳田 雄治	医師	32	病院(泌尿器科)にて勤務
疾病論Ⅲ(消化器、腎・泌尿器)	松本 有里子	医師	22	病院(腎臓内科)にて勤務
疾病論Ⅳ(内分泌・代謝)	川崎 英二	医師	37	病院(糖尿病・内分泌内科)にて勤務
疾病論Ⅳ(内分泌・代謝)	廣松 雄治	医師	46	病院(甲状腺・内分泌内科)にて勤務
疾病論Ⅴ(運動器、脳・神経)	二之宮 謙一	医師	28	病院(整形外科)にて勤務
疾病論Ⅴ(運動器、脳・神経)	牟田口 滋	医師	26	病院(整形外科)にて勤務
疾病論Ⅴ(運動器、脳・神経)	澁谷 統壽	医師	57	病院(脳神経内科)にて勤務
疾病論Ⅴ(運動器、脳・神経)	一ツ松 勤	医師	31	病院(脳神経外科)にて勤務
疾病論Ⅴ(運動器、脳・神経)	石堂 克哉	医師	33	病院(脳神経外科)にて勤務
疾病論Ⅵ(女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)	末松 栄一	医師	40	病院(内科)にて勤務
疾病論Ⅵ(女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)	菅沼 明彦	医師	32	病院(内科、感染症科)にて勤務
疾病論Ⅵ(女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)	中尾 佳史	医師	32	病院(産婦人科)にて勤務
疾病論Ⅵ(女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)	馬場 美樹	医師	32	病院(乳腺外科)にて勤務
疾病論Ⅵ(女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)	小野 研	医師	29	病院(放射線科)にて勤務
疾病論Ⅵ(女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)	白石 哲史	診療放射線技師	30	病院(診療放射線課)にて勤務
疾病論Ⅶ(皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔)	山口 隆広	医師	26	病院(皮膚科)にて勤務
疾病論Ⅶ(皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔)	橋本 佳典	医師	3	病院にて勤務
疾病論Ⅶ(皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔)	鈴木 久美子	医師	26	病院にて勤務
疾病論Ⅶ(皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔)	豊福 司生	歯科医師	45	病院(歯科、口腔外科)にて勤務
薬理学	久保 昌平	薬剤師	16	病院(薬剤課)にて勤務
薬理学	坂本 健太郎	薬剤師	10	病院(薬剤課)にて勤務
薬理学	安田 和樹	薬剤師	7	病院(薬剤課)にて勤務
微生物学	黒岩 晃	臨床検査技師	3	病院にて勤務
看護につながる	池西 静江	看護師	51	病院にて看護師として勤務
看護につながる	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
看護につながる	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護につながる	手島 淳介	看護師	14	病院にて看護師として勤務
看護につながる	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
社会福祉	中野 繁広	社会福祉士	24	病院(地域医療連携室)にて勤務
看護関係法令	田中 圭子	看護師	41	病院にて看護師として勤務
公衆衛生	糸瀬 孝子	保健師・看護師	43	保健所等にて勤務
総合医療論	藤堂 省	医師	50	病院にて勤務
総合医療論	平松 義博	医師	46	病院(内科)にて勤務
総合医療論	加藤 光樹	医師	18	病院(内科)にて勤務
暮らしを支えるチームケア	池西 静江	看護師	51	病院にて看護師として勤務

科目	講師名	資格	実務経験年数	実務経験内容
暮らしを支えるチームケア	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
暮らしを支えるチームケア	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
看護の場を知る	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護学概論	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
看護理論	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅰ(看護技術とは 環境)	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅰ(看護技術とは 環境)	川原 千恵美	看護師	15	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅱ(清潔・衣生活)	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅲ(活動・休息)	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅳ(食事・排泄)	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅰ(コミュニケーション)	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	手島 淳介	看護師	14	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅲ(安全・安楽の技術)	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅲ(安全・安楽の技術)	手島 淳介	看護師	14	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅳ(看護過程展開の技術)	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅳ(看護過程展開の技術)	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
診療の補助技術	手島 淳介	看護師	14	病院にて看護師として勤務
診療の補助技術	川原 千恵美	看護師	15	病院にて看護師として勤務
暮らしと健康	近藤 加奈子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
地域を視る	近藤 加奈子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
地域保健活動	近藤 加奈子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護概論	池田 敦子	看護師	16	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護概論	本村 和久	医師	27	病院にて勤務
地域・在宅看護方法論Ⅰ(在宅療養を支える技術)	近藤 加奈子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護方法論Ⅰ(在宅療養を支える技術)	結城 千賀	看護師	34	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護方法論Ⅱ(状態別看護)	池田 敦子	看護師	16	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護方法論Ⅱ(状態別看護)	結城 千賀	看護師	34	病院にて看護師として勤務
成人看護学概論	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅰ(慢性期看護)	野口 由紀子	看護師	25	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅰ(慢性期看護)	萬野 恵美子	看護師	26	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅰ(慢性期看護)	長主 貴大	看護師	14	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅰ(慢性期看護)	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ(急性期看護)	本川 満	看護師	21	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ(急性期看護)	森 さつき	看護師	21	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ(急性期看護)	宮地 千加子	看護師	25	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ(急性期看護)	岩本 雅俊	看護師	26	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ(急性期看護)	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅲ(回復期看護)	高倉 望	看護師	16	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅲ(回復期看護)	林田 晶子	看護師	27	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅲ(回復期看護)	成富 耕治	理学療法士	20	病院(リハビリテーション)にて勤務
成人看護学方法論Ⅲ(回復期看護)	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
老年看護学概論	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
老年看護学方法論Ⅰ(ADLに障害を有する高齢者の看護)	真田 洋子	看護師	26	病院にて看護師として勤務
老年看護学方法論Ⅱ(疾病論 認知症を有する高齢者の看護)	深山 加寿代	看護師	35	病院にて看護師として勤務
老年看護学方法論Ⅱ(疾病論 認知症を有する高齢者の看護)	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
小児看護学概論	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
小児看護学概論	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
小児看護学方法論Ⅰ(疾病論)	轟 知光	医師	38	病院(小児科)にて勤務
小児看護学方法論Ⅰ(疾病論)	横田 吾郎	医師		病院(小児科)にて勤務
小児看護学方法論Ⅱ(健康問題を有する小児の看護)	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
母性看護学概論	林 桂子	看護師・助産師	18	病院にて看護師として勤務
母性看護学方法論Ⅰ(マタニティサイクルにおける看護)	林 桂子	看護師・助産師	18	病院にて看護師として勤務
母性看護学方法論Ⅰ(マタニティサイクルにおける看護)	池田 律子	看護師・助産師	23	病院にて看護師・助産師として勤務
母性看護学方法論Ⅱ(周産期の医療と看護)	山本 広子	医師	15	病院(婦人科)にて勤務
母性看護学方法論Ⅱ(周産期の医療と看護)	愛洲 紀子	医師	19	病院(婦人科)にて勤務
母性看護学方法論Ⅱ(周産期の医療と看護)	林 桂子	看護師・助産師	18	病院にて看護師として勤務
精神看護学概論	相川 裕美	看護師	25	病院にて看護師として勤務

科目	講師名	資格	実務経験年数	実務経験内容
精神看護学概論	松永 嘉明	精神保健福祉士	14	病院にて勤務
精神看護学方法論Ⅰ(疾病論)	児玉 英也	医師	11	病院(精神神経科)にて勤務
精神看護学方法論Ⅱ(精神障害を有する対象の看護)	相川 裕美	看護師	25	病院にて看護師として勤務
看護管理	田中 圭子	看護師	39	病院にて看護師として勤務
看護管理	松家 貴美子	看護師	10	病院にて看護師として勤務
看護管理	池末 直子	看護師	35	病院にて看護師として勤務
医療安全	坂田 真佐子	看護師	33	病院にて看護師として勤務
医療安全	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
災害看護学・国際看護学	山崎 宏美	看護師	29	病院にて看護師として勤務
災害看護学・国際看護学	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
災害看護学・国際看護学	伊達 卓二		34	国際保健医療分野専門家として従事
災害看護学・国際看護学	藤田 千代子	看護師	41	国際協力に従事
統合看護技術	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
統合看護技術	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
統合看護技術	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
看護管理(領域横断)	真田 洋子	看護師	26	病院にて看護師として勤務
家族看護(領域横断)	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング(領域横断)	池西 静江	看護師	51	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング(領域横断)	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング(領域横断)	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング(領域横断)	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング(領域横断)	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
薬物療法と看護(領域横断)	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
薬物療法と看護(領域横断)	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
周術期と看護(領域横断)	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
エンド・オブ・ライフ・ケア	松崎 千鶴	看護師		病院にて看護師として勤務
エンド・オブ・ライフ・ケア	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
基礎看護学実習Ⅰ(コミュニケーション)	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
基礎看護学実習Ⅱ(看護過程の展開)	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護論実習Ⅰ(地域包括支援センター)	近藤 加奈子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護論実習Ⅱ(訪問看護ステーション)	近藤 加奈子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
外来における看護実習(成人看護学実習)	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
急性期における看護実習(成人看護学実習)	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
地域で暮らす高齢者のケア(老年看護学実習)	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
回復期・慢性期における看護実習(老年看護学実習)	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
緩和ケア実習(老年看護学実習)	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
地域における母子保健実習	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
小児看護学実習	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
母性看護学実習	林 桂子	看護師・助産師	18	病院にて看護師として勤務
精神看護学実習	相川 裕美	看護師	25	病院にて看護師として勤務
看護の統合と実践実習	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務

基礎分野

分野:基礎分野

科目:論理学

【 1単位:30時間

授業回数:15回

】

担当教員	中島由美子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義	演習
授業の概要	合理的な思考の規則を学び、他者の考えを理解し、自分の考えを論理的に組み立て自己表現できるように論理の力を身につける。					
到達目標	1. 論文・レポートを書く基礎的法則を知り文書構成ができる。 2. 他者の考えを聞き、自分の考えを表現し議論することができる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	「論理」とはなにか	講義・演習		中島	
	2	論理的に読む 1. 接続語	講義・演習		中島	
	3	論理的に読む 2. 語句	講義・演習		中島	
	4	論理的に読む 3. 指示語	講義・演習		中島	
	5	論理的に読む 4. 内容説明	講義・演習		中島	
	6	論理的に読む 5. 理由説明	講義・演習		中島	
	7	論理的に読む 6. 脱分挿入	講義・演習		中島	
	8	論理的に読む 7. 話題の把握	講義・演習		中島	
	9	論理的に書く 1. 小論文とは何か ①	講義・演習		中島	
	10	論理的に書く 2. 小論文とは何か ②	講義・演習		中島	
	11	論理的に書く 3. 小論文とは何か ③	講義・演習		中島	
	12	論理的に書く 4. どういう文体で書くのか ①	講義・演習		中島	
	13	論理的に書く 5. どういう文体で書くのか ②	講義・演習		中島	
	14	論理的に書く 6. 問題と意見の組み立て方	講義・演習		中島	
15	講義のまとめ	講義		中島		
使用テキスト等	テキストは使用しない。教材を配布する。					
主たる参考図書・文献	看護学生のための「読む力」「書く力」レッスンBOOK【日本看護協会出版会】					
評価方法	筆記試験					
学生へのメッセージ	論理的に読むこと書くことの基礎を学び、他者に理解してもらえる文章力をつけることを目指します。練習問題などに取り組む積極的な態度を評価します。					

分野:基礎分野		科目:文化人類学		【1単位: 15時間		授業回数: 8回		】	
担当教員	尾堂 修司	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習			
授業の概要	衣食住の生活様式・儀礼・人間関係、宗教、生活形態を通して、世界の人々が培ってきたそれぞれの生活の伝承文化を学び、より深い人間理解に繋がる気づきを得る。								
到達目標	東アジアの文化を理解するために不可欠な儒教・仏教・道教の関係と歴史を概観し、それぞれの身体観、死生観や生活倫理などの異同を再確認する。								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	文化人類学とは ガイダンス はじめに	講義	テキスト1章の 予習	尾堂				
	2	第1章 シンクレティック東アジア 第2章 かばいあう親子のどろぼう	講義	テキスト2章の 予習	尾堂				
	3	第2章 かばいあう親子のどろぼう	講義	テキスト3章の 予習	尾堂				
	4	第3章 翼をなくした天女たち(上)	講義	テキスト4章の 予習	尾堂				
	5	第4章 翼をなくした天女たち(下)	講義	テキスト5章の 予習	尾堂				
	6	第5章 福祿寿、怨恨、呪殺	講義	テキスト8章の 予習	尾堂				
	7	第8章 彼らに永遠の休息をあたえたまえ	講義	テキスト9章の 予習	尾堂				
	8	第9章 東アジアの思想空間へ	講義		尾堂				
使用テキスト等	菊池 章太 儒教・仏教・道教 東アジアの思想空間【講談社】								
主たる参考図書・文献									
評価方法	終講試験(毎回の小レポート、受講態度)								
学生へのメッセージ	小学生にも理解できる民話のDVDなどを通して学ぶので心配無用です								

分野:基礎分野 科目:教育学						【1単位: 30時間 授業回数: 15回】	
担当教員	白石 義郎	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義	演習	
授業の概要	社会生活を行う上での価値観、習慣、看護と教育について考え、教育の理論、教育方法を学ぶ。						
到達目標	1. 看護における教育とケアの意義を理解する。 2. 教育の理論と方法を学び、看護に応用できる指導・教育の基礎を学ぶ。 3. 患者理解に基づく適切な指導・教育ができる。 4. 社会の要請に対応し、自己啓発と、生涯にわたって学び続ける姿勢を持つ。						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	看護基本の学び方(1) 看護入門を読む!	講義 GW	「看護学概論」	白石		
	2	看護基本の学び方(2) ナイチンゲール看護	講義 GW		白石		
	3	ナイチンゲール「看護覚書」の学び方	講義 GW	「看護覚書」	白石		
	4	ナイチンゲール「看護覚書」観察	講義 GW		白石		
	5	看護ネットワークとの連携	講義 GW		白石		
	6	医療分業を学ぶ	講義 GW		白石		
	7	医療支援ネットワークにおける看護師	講義 GW		白石		
	8	地域包括ケアシステムの看護師	講義 GW		白石		
	9	子どもの成長と看護ケア:養護教諭	講義 GW		白石		
	10	音楽療法と看護ケア	講義 GW		白石		
	11	ヘンダーソン「看護の基本となるもの」	講義 GW		白石		
	12	成長と発達 マズロー、エリクソン	講義 GW		白石		
	13	看護計画の中の教育ケア	講義 GW		白石		
	14	看護コミュニケーション力をつける	講義 GW		白石		
	15	まとめ 終講試験とふりかえり	講義 GW		白石		
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 18巻看護学概論【メディカ出版】、プリント配布						
主たる参考図書・文献	講義のなかで紹介します						
評価方法	授業への積極的な参加 30% 小テスト 30% レポート 40%						
学生へのメッセージ	学習力を高めるために、短い文を書いてもらいます						

担当教員	山本耕之	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	飛行機事故の原因解明研究から人間工学が始まり、その改善法も導き出された。医療現場での看護動作は、ヒトの運動特性を、人間工学的に解釈することで可能となる。即ち、体内の筋肉が、テコである骨の力点に働き、関節を支点として四肢、頭部の先端が作用点として運動する。無理をしない姿勢と運動の力学、及び看護医療の安全を学ぶ。				
到達目標	1. 人間工学の基礎的概念と看護学との関係性について説明できる。 2. 看護動作は筋と骨格のテコ作用に基づくもので、四肢関節の負荷による消耗の低減方法を力学で見出せる。 3. 患者さんと看護師自身に安全な看護介助活動法を見出す基礎力を持つ。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	人間工学の歴史、起こり、概要 KJ法によるアイデアの抽出。 ハードウェア・ソフトウェア	講義 演習		山本
	2	システムとは、フィードバック、フィードフォワード。 反応、と遅れ センサーと人の五感。 人・動物のスマートなシルエットと筋肉・骨格との関係	講義 演習	制御工学 解剖学	山本
	3	力、質量、加速度。 人体各部の重量、関節と筋肉による体の動きとの関係	講義 演習		山本
	4	物理学及び力学の基礎、ベクトルとは何か。 まさつ力、圧力、水圧、血圧と血圧測定原理。	講義 演習		山本
	5	力が均り合うとは何か。均り合いの法則、モーメントの意味、 力のベクトル、ベクトルの交点、ベクトル3角形、多角形。図式力学	講義 演習		山本
	6	力を合わせる:合成=合力、力を分ける:分解=分力の求め方	講義 演習	中学理科	山本
	7	力の図的な表現:矢印線=ベクトル。図式力学。 2力の均合い、3力の均合い、多力の均り合い。作用線の重要性。	講義 演習	高校物理	山本
	8	図式力学、タブレットによるリテラシー	講義 演習		山本
	9	図式力学 タブレット上演習1:作用線の発見、	講義 演習		山本
	10	図式力学 タブレット上演習2:看護姿勢による腰の負担の軽減について	講義 演習		山本
	11	図式力学 タブレット上演習3:二人で患者さんを楽にかかえ上げる方法	講義 演習		山本
	12	図式力学 タブレット上演習4:3力以上多力の均り合い例	講義 演習		山本
	13	医療看護現場の安全、事故防止、リスクとは何か、 マーフィーの法則、ハインリッヒの法則、フールプルーフ、 フェイルセーフ	講義 演習		山本
	14	医療看護現場、システムの改善の方法 QCサークル、5S、KYT、 緊急停止、天災時の看護対応	講義 演習		山本
15	バリアフリー、ユニバーサルデザインと人間工学 要点復習:力学基礎振り返り	講義 演習		山本	
使用テキスト等	看護の環境と人間工学【サイオ出版】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験・演習状況・レポート)				
学生へのメッセージ	中学生理科「テコの原理」、高校物理「力学」を読み直すこと				

担当教員	城戸幸一	年次・ 開講時期	1年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	情報化社会の進歩に伴い情報処理の基本的な考え方、情報処理システムの医療機関への応用、医療、看護データ・ICTの処理について学ぶ。				
到達目標	1. 医療従事者として情報科学やコンピューターに関する基礎知識を身につける。 2. 情報処理の方法と結果を解釈する力をつけ、パソコンの活用、レポート作成に活かす。 3. ICT活用における情報リテラシーを身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	情報リテラシーについて①	講義 演習		城戸
	2	情報リテラシーについて②	講義 演習		城戸
	3	パソコン操作 Word①	講義 演習		城戸
	4	パソコン操作 Word②	講義 演習		城戸
	5	パソコン操作 Gmail Word③	講義 演習		城戸
	6	パソコン操作 Word④	講義 演習		城戸
	7	WEB検索の仕方 Word⑤ Excel①	講義 演習		城戸
	8	Excel② 計算・関数①	講義 演習		城戸
	9	Excel③ 計算・関数②	講義 演習		城戸
	10	Excel④ 計算グラフ	講義 演習		城戸
	11	Power point ① プレゼンテーション資料作成①	講義 演習		城戸
	12	Power point ② テーマ作成 情報リテラシー AIについて	講義 演習		城戸
	13	Word テスト	講義 演習		城戸
	14	Excel Power point テスト	講義 演習		城戸
15	情報リテラシーテスト テスト解答・解説	講義 演習		城戸	
使用テキスト等	医療従事者のための情報リテラシー【日経BP社】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験 PCIによるテスト				
学生へのメッセージ	情報の価値を理解し、適正かつ的確に利用する重要性について学びます。また、最低限の情報処理として自ら考え実践できる、Word、Excelの使い方の基礎を学習します				

分野:基礎分野		科目:家族と社会学		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】	
担当教員	中西 吉則	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人間の社会的側面の基本的な概念を学修し、看護社会的なものの方の見方・考え方を学ぶ。人間生活の基礎的単位である家族が果たす社会における役割や機能について理解する。				
到達目標	1. 社会学の基礎概念を理解する。 2. 健康・病気と社会がどのように関わっているか理解する。 3. 人間生活の基盤としての現代の家族および家族の人々の関係を理解する。 4. 社会の中で、家族を単位として援助することの意義を理解する。				
授業計画		授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	家族と社会学(序) 家族とは?	講義		中西
	2	家族の基礎概念(1)	講義		中西
	3	家族の基礎概念(2) 配偶者選択過程(1)	講義		中西
	4	配偶者選択過程(2) 性と医学問題	講義		中西
	5	配偶者選択過程(3) 未婚、結婚	講義		中西
	6	「健康と美」(見た目以上のもの) 結婚への過程:結婚式と家族	講義		中西
	7	結婚(1) 制度:現状と課題	講義 DVD視聴		中西
	8	結婚(2) 無国籍等 夫婦関係:現状と課題	講義		中西
	9	家族と人口 少子高齢化 ①少子化 傾向と対策	講義		中西
	10	家族と人口 少子高齢化 ②高齢化 傾向と対策	講義		中西
	11	親と子(出産、中絶、婚外子、無戸籍 等…) 生命科学(生殖医療)	講義		中西
	12	親と子(出産、中絶、婚外子、無戸籍 等…) 養子縁組 赤ちゃんポスト	講義		中西
	13	子育て(1)	講義		中西
	14	子育て(2) ドイツの暮らしと家族	講義		中西
15	家族のジェンダー	講義		中西	
使用テキスト等	資料を配布				
主たる参考図書・文献	家族論・家族関係論【医学書院】 参考資料は開講時に随時紹介する				
評価方法	終講試験(筆記試験・受講態度・レポートなど)				
学生へのメッセージ	幅広いものの方の見方を身につけてほしい				

分野:基礎分野		科目:心理学		【1単位: 15時間 授業回数: 8回】	
担当教員	城戸 由香里	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人間の心理に関する基礎的知識と人間尊重の基盤を学ぶ。また、その学修をもとに自己理解や看護専門職への適応を促す内容とする。				
到達目標	1. 人間の心理に関する基礎知識を修得する。 2. 人間心理の諸側面について学修し、自己理解・他者理解を深める。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	オリエンテーション (授業の進め方とテスト) 学習・記憶	講義		城戸
	2	発達の心理(Ⅰ) 乳幼児期～児童期	講義		城戸
	3	発達の心理(Ⅱ) 児童期～青年期 発達障害(未就学児)	講義		城戸
	4	発達の心理(Ⅲ) 成人期・老年期 認知症(軽度) アルツハイマー型認知症	講義		城戸
	5	社会・集団の心理 認知症(中等度・重度) アルツハイマー型認知症	講義		城戸
	6	健康の心理と人間理解(患者) ストレス理論(セリエ) ストレスのシステム理論	講義		城戸
	7	臨床現場にて ユマニチュード パーソンセンタードケア	講義		城戸
	8	復習 確認テスト	講義		城戸
使用テキスト等	看護学生のための心理学【医学書院】				
主たる参考図書・文献	DVD ビデオ CDは開講時に随時紹介する				
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)				
学生へのメッセージ					

担当教員	江藤 智佐子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習
------	--------	-------------	------	------	----	----

授業の概要
 保健医療の対人ケア職としての看護は、援助を必要とする人たちのケアだけでなくその任にあたる他の医療・福祉等の専門職間との密接な人間関係のうえに成り立っている。
 仕事を円滑に実践するために必要な対人能力向上のための知識とスキルを身につける。

到達目標
 1. 看護実践において必要となる人間関係を理解する。
 2. 他者との円滑な人間関係形成方法を理解する。
 3. 人間関係とは何かを知り、適切な対人コミュニケーションの取り方について理解する。

回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
1	オリエンテーション	講義		江藤
2	対人関係と役割	講義		江藤
3	態度と対人行動／集団と個人	講義		江藤
4	人間関係を形成するコミュニケーション① グループからチームへ	講義		江藤
5	人間関係を形成するコミュニケーション② ワークの振り返り	演習		江藤
6	人間関係を形成するコミュニケーション③ 事実を承認する	演習		江藤
7	コーチング① 病院探検で学んだことを書く	演習		江藤
8	コーチング②	演習		江藤
9	アサーティブ-コミュニケーション①	演習		江藤
10	アサーティブ-コミュニケーション②	演習		江藤
11	保健医療チームの人間関係と多職種連携	講義		江藤
12	患者を支える人間関係	講義		江藤
13	地域をつくる人間関係	講義		江藤
14	看護師を取り巻く人間関係 (終講試験)	講義		江藤
15	まとめ(振り返りと後期のアクションプラン)	講義・演習		江藤

使用テキスト等
 長谷川浩編『系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版』【医学書院】
 小栗かよ子・藤田覚『医療安全のための接遇・クレーム対応実践マニュアル』【一般社団法人 日本看護学校協議会 共済会】

主たる参考図書・文献
 授業内で適宜紹介する。

評価方法
 課題・レポート(70%)、終講試験(筆記試験 30%)で総合的に評価する。

学生へのメッセージ
 対人援助技術を向上させるためには、知識の獲得だけでなく、ICT活用も含めた実践も必要です。相手の状況に応じた適切な対人コミュニケーション能力を身につけるために、講義もアクティブラーニング形式で実施します。授業で学んだことは日常生活においても実践し、対人能力を高める努力をしてください。

分野:基礎分野 科目:国際関係論 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	古賀 幸久	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	<p>現在、国際社会のありのままの姿をみる。 国際社会を構成している国家や民族の姿をながめる。 日本と日本人の姿を国際社会の中で捉える。 私たちの進む方向性について考える。</p>				
到達目標	<p>1. 混沌とした国際社会にも一定の秩序と原則があることを理解する。 2. 国際社会の現象と個人の利害が繋がっていることを理解する。 3. 私たちの国際社会の中で生きることの意味について理解する。</p>				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	国際関係のミクロ的認識(学ぶにあたっての自己認識)と世界と実態	講義	アンダーラインの語句を調べておくこと	古賀
	2	国際問題への対応と日常(国際関係論を実践的に考える)	講義	〃	古賀
	3	国際関係理論の展開	講義	〃	古賀
	4	国際社会の現実(過去・現在・未来)悲劇の根本的原因を考える	講義 DVD	〃	古賀
	5	関係性とは 戦争回避のための工夫	講義	〃	古賀
	6	歴史間の関係性	講義	〃	古賀
	7	イスラム社会の生活で学ぶこと 中村哲医師の活動を通して	講義	〃	古賀
	8	国際関係論の重要点まとめ 今後の課題	講義	〃	古賀
使用テキスト等	資料配布				
主たる参考図書・文献	国際関係論 佐渡友 哲、信夫 隆司編 【弘文堂】				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ	テレビや新聞、ネットなどを通じて世界情勢に敏感になろう。				

分野:基礎分野 科目:カウンセリング論 【 1単位:15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	松田 輝美	年次・開講時期	2年前期	授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習
授業の概要	カウンセリングに役立つ理論を学ぶことで、人間のこころとその変化を理解する。				
到達目標	1. カウンセリングに関する理論と実践について理解する。 2. コミュニケーションやカウンセリングに関するスキルを身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	カウンセリングの意義 看護職に求められるカウンセリング	講義 演習		松田
	2	臨床心理学的カウンセリング 危機介入	講義 演習		松田
	3	自己成長論(来談者中心療法)	講義 演習		松田
	4	精神力動論(精神分析)	講義 演習		松田
	5	認知行動論(行動療法)	講義 演習		松田
	6	認知行動論 (認知行動療法)	講義 演習		松田
	7	システム論 (家族療法・ブリーフセラピー)	講義 演習		松田
	8	まとめ カウンセリングにおける統合的アプローチ	講義 演習		松田
使用テキスト等	資料配布				
主たる参考図書・文献	諸富祥彦 『カウンセリングの理論』(上)(下) 【 誠信書房 】 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 【医学書院】 小林司・桜井俊子 『看護・介護のための心をかよわせる技術』【新曜社】 山蔦圭輔 『基礎から学ぶカウンセリングの理論』 【産業能率大学出版部】				
評価方法	終講試験(小テスト50%、筆記試験50%)				
学生へのメッセージ	授業で学んだことについての理解度を測るために授業の最後に小テストを実施する。				

担当教員	永山 寛	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	心身の健康増進に有用な運動を体験し理解を深める。また周囲の方の疾病予防や介護予防、リハビリテーション等に活かすことのできるレクリエーションを企画・体験する。				
到達目標	1. 最低限必要な体力を養うことや、運動習慣を身につけることの重要性を理解する。 2. スポーツを通して交友関係を深め、心身ともに健康な学生生活を送る。 3. 楽しんでもらえるレクリエーションを企画・体験する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	場所	担当
	1	ガイダンス レクリエーション体験	講義	教室等	永山
	2	健康づくりのための運動処方	実技	教室等	永山
	3	レクリエーション体験	実技	教室等	永山
	4	ニュースポーツ (グラウンドゴルフ・ペタンク・モルック)	実技	教室等	永山
	5				
	6	レクリエーション企画	実技	教室等	永山
	7				永山
8	まとめ	講義	教室等	永山	
使用テキスト等					
主たる参考図書・文献	DVD ビデオ CD は開講時に随時紹介する				
評価方法	技術的な優劣よりも運動への積極的な態度や他者への協力姿勢など総合的に評価する				
学生へのメッセージ	<p>授業態度について: 積極的に活動する(準備 片付けも含めて) スマホなどは必要時以外触らない</p> <p>服装について: 特に指定はしないが、運動のできるものを着用する(ジャージやスウェットなど) ズボンの裾は長すぎないように注意する(見た目の問題だけでなく、安全上の理由から) 必要に応じて防寒用のウェアや各種ウォーマーを準備する ※屋外で活動する際には別途指示します</p> <p>安全管理について: 金属系の指輪、ピアスは外し、バックの中にしまう(ポケットには入れない) ネックレス等は服の中に隠れるものは可、それ以外は外す 髪が長く、運動の妨げになる場合は結ぶ 人と接触したりボールや道具を使用したりする場合がありますので、爪は伸ばしすぎない ポケットに手を入れたまま動かない 自己の体調管理に努める 必要に応じて水分補給用の飲み物や着替え・タオルを準備する 貴重品の管理の徹底(紛失に際して責任を負いません)</p>				

分野:基礎分野 科目:中国語 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	沈 震	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	中国の社会・文化・医療を知るとともに、初歩的な読解力と簡単な会話が理解できる能力を身につける。					
到達目標	1. 中国語で意志伝達をする際に最低限必要な文法を修得する。 2. 臨床場面で有用な語彙を学び、同時に意志疎通に本当に必要なことは何かを考える。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	中国文化と学習の動機について考える オリエンテーション 中国漢字の由来・特徴の知識	講義		沈 震	
	2	発音紹介 母音・子音について 声調の発音方法について 数字の読み方①(1~5)	講義	単語の予習	沈 震	
	3	数字の読み方②(6~10) 日常の会話	講義 演習	単語の予習	沈 震	
	4	第1課 単語、文法、練習問題 ～である(です)、～ではありません	講義 演習	単語の予習	沈 震	
	5	第2課 文法、助詞、疑問語使い方	講義 演習		沈 震	
	6	第3課 連動文 医療用語①: 症状	講義 演習	テキストを読み、挨拶の練習をしてくる	沈 震	
	7	第4課 助動詞の使い方、指示代詞の使い方 医療用語②: 単語、発音、意味	講義 演習		沈 震	
	8	まとめ	講義		沈 震	
使用テキスト等	初級テキスト 日中いぶこみ広場【朝日出版社】					
主たる参考図書・文献	初級中国語教室 詳解文法と作文のクラス【白帝社】 初級テキスト 中国語の教室【白帝社】 語順から学ぶ 中国語【白帝社】 他 CD 参考書は開講時に随時紹介する					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)					
学生へのメッセージ						

分野:基礎分野

科目:英会話

【 1単位:15時間

授業回数:8回

】

担当教員	満平 学	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護に必要な英語の基礎を修得し、国際人として対応できる素地を養う。				
到達目標	1. 日本語を介さず英単語をイメージして修得し、多くの単語を定着する。 2. スピーキング能力、リスニング能力、患者の方々に適切に対応できるようにする。 3. 英語学習は実は楽しいと認識し、全ての講義の終了後でも個々で自主学修をする。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護英会話の必要性について 表現法① 基本的な挨拶 英単語① 体の部位(上半身)	講義 演習		満平
	2	英単語② 体の部位(下半身) 表現法② 簡単な会話	講義 演習	1回目の講義 内容	満平
	3	英単語② 臓器など 表現法③ LとRの発音の違い	講義 演習	2回目の講義 内容	満平
	4	英単語③ 専門医や担当医、 表現法④ 初診の患者に対応するための 表現	講義 演習	3回目の講義 内容	満平
	5	表現法⑤ 問診:風邪の症状、消化不良	講義 演習	4回目の講義 内容	満平
	6	表現法⑥ 問診:怪我、病気と不調	講義 演習	5回目の講義 内容	満平
	7	英単語⑥ 薬の名称や種類 表現法⑦ 薬の飲み方の説明	講義 演習	6回目の講義 内容	満平
	8	まとめ	講義 演習	全ての講義 内容	満平
使用テキスト等	資料配布(紙のフォーマットはB4もしくはB5サイズ)				
主たる参考図書・文献					
評価方法	2回目～7回目のミニテスト(平常点)および終講試験				
学生へのメッセージ	看護師としての英会話を学修しスキルアップを目指しましょう				

分野:基礎分野

科目:医療英語

【 1単位:30時間

授業回数:15回 】

担当教員	神代 良子	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習	
授業の概要	現代社会のグローバル化した国際感覚を身に付け、職業の中で活用できる能力を修得する。					
到達目標	1. 医療・看護に関する英語の知識を修得する。 2. 医療・看護を実施するうえでの実践的な英会話を修得する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	身体の部位と内臓の英語表現 ナースの仕事を英語で表現	講義 演習	単語の予習	神代	
	2	Unit1 ナースと患者の対話の聞き取り練習 困ったときの英語表現、新任ナース紹介の対話	講義 演習	単語の予習	神代	
	3	Unit1 診療科の英語表現 患者の基本情報をカードに記入	講義 演習	単語の予習	神代	
	4	Unit2 診療手続きをする 症状を尋ねる 症状を表す英語表現、測定の単位と略語	講義 演習	単語の予習	神代	
	5	Unit2 診療手続きのための聞き取り 身長・体重・体温の換算について、診療申込書記入	講義 演習	単語の予習	神代	
	6	Unit3 場所や時間の説明 入院時オリエンテーション、病院の備品	講義 演習	単語の予習	神代	
	7	Unit4 病名を英語で覚える(クロスワードパズルで印象 づける) 家族歴、病歴の聴取表現	講義 演習	場面に合わせた例文を 考えてくる	神代	
	8	Unit4 家族歴、患者病歴を情報をもとにカード作成、 病名復習	講義 演習		神代	
	9	Unit5 検査に関する英語 ①検査の指示②検査名(パズルを使って覚える)	講義 演習		神代	
	10	Unit7 幼児期の健康問題・予防接種 小児科予診票→予防接種申込書記入	講義 演習		神代	
	11	Unit8 手術に臨んでの説明、当日術後 手術名、手術方法、麻酔のタイプ、体内器官名	講義 演習		神代	
	12	Unit9 手術の確認を確認シートに記入する 外科手術名(切除・摘出手術)、麻酔の種類	講義 演習		神代	
	13	Unit10 ナースの仕事、薬(内服、外用)の名前・使い 方・使用頻度、看護記録カード作成	講義 演習		神代	
	14	Unit10 各国の文化や宗教 文化や宗教の違いによる治療に関する心配事、 語彙復習	講義 演習		神代	
15	終講テストに向けて語彙全般復習 各ユニットの要点をまとめて内容を復習	講義	神代			
使用テキスト等	クリスティーンのレベルアップ看護英会話 【医学書院】					
主たる参考図書・文献	英語文献 CD 参考書は開講時に随時紹介する					
評価方法	終講試験(筆記試験・課題プリント)					
学生へのメッセージ	医療・看護の分野において英語の必要性は高まっています 積極的に興味をもって取り組んでいきましょう					

專門基礎分野

分野: 専門基礎分野		科目: 解剖生理学 I		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】		
(総論、消化器、呼吸器、血液・造血、循環器)						
担当教員	木戸田 朋子		年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人体の正常な構造を正確に理解する。 人体の構造を学び、看護に必要な健康や疾病、障害に関する観察力、洞察力を養う。					
到達目標	1. 人体の構造について学ぶ。 2. 各器官の名称、構造、しくみ等について理解する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	序章 1. 細胞と組織	講義	教科書対応部分を読んでおく	木戸田	
	2	1. 組織 10. 皮膚	講義		木戸田	
	3	2. 骨格系 ~胸郭~	講義		木戸田	
	4	2. 骨格系 ~関節~	講義		木戸田	
	5	2. 筋系 ~横隔膜~	講義		木戸田	
	6	2. 筋系 4. 呼吸器 ~喉頭~	講義		木戸田	
	7	4. 呼吸器 3. 循環器 ~心臓~	講義		木戸田	
	8	3. 循環器 ~胎児循環~	講義		木戸田	
	9	3. 循環器 ~リンパ~ 7. 消化器 ~咽頭~	講義		木戸田	
	10	7. 消化器 ~大腸~	講義		木戸田	
	11	7. 消化器 ~肝、胆、膵~ 6. 泌尿器 腎	講義		木戸田	
	12	6. 泌尿器 12. 生殖器系	講義		木戸田	
	13	11. 内分泌 8. 神経系 ~髄膜~	講義		木戸田	
	14	8. 神経系 ~脳神経、脊髄神経~ 9. 感覚器 ~水晶体~	講義		木戸田	
15	9. 感覚器	講義	木戸田			
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 イメージできる解剖生理学 【メディカ出版】			【メディカ出版】		
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能①			【医学書院】		
評価方法	終講試験(筆記試験)					
学生へのメッセージ	解剖生理学は全ての科目の基礎となる重要な科目である 自ら興味を持って積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい					

分野: 専門基礎分野		科目: 解剖生理学Ⅱ (腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	本田 順一 澁谷 統壽 愛洲 紀子	前山夕紀子 平塚義治 高園真理子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態 講義 演習
授業の概要	人体の正常な構造とはたらきを正確に理解することで疾病・障害の成り立ちが理解できる。解剖生理学Ⅰに引き続き、より発展的、生理学的知識を深める。				
到達目標	1. 人体構造の基本をより発展的に学ぶ 2. 身体表面、皮膚、血管、筋、骨について詳しく学ぶ 3. 血液成分、呼吸、循環、消化、吸収、排泄のメカニズムを理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護の土台となる解剖生理学 ホメオスタシス フィードバック機構	講義	教科書対応部分を読んでおく	高園
	2	皮膚と膜 体熱産生と体温	講義		高園
	3	血液① 血液の機能と成分 血球とその機能	講義		本田
	4	血液② 血液型と輸血 血液の発生	講義		本田
	5	消化器系① 吸収	講義		前山
	6	消化器系② 排泄 消化器系の成長と老化	講義		前山
	7	神経系① 神経組織の構造と機能	講義		澁谷
	8	神経系② 中枢神経系 末梢神経系	講義		澁谷
	9	感覚系 感覚の特徴 体性感覚 内蔵感覚 感覚系の成長と老化	講義		澁谷
	10	免疫系① 免疫系のおおまかなしくみ 獲得免疫系のしくみ①	講義		本田
	11	免疫系② 獲得免疫系のしくみ②	講義		本田
	12	免疫系③ 自然免疫系のしくみと獲得免疫系との関連	講義		本田
	13	免疫系④ 免疫系と感染症 アレルギーと自己免疫疾患	講義		本田
	14	生殖器① 男性生殖器	講義		平塚
15	生殖器② 女性生殖器	講義	愛洲		
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能 ①解剖生理学 【MCメディカ出版】 イメージできる病態生理学 【メディカ出版】 イメージできる解剖生理学 【メディカ出版】 イメージできる生化学・栄養学 【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ	解剖生理学は全ての科目の基礎となる重要な科目である 自ら興味をもって積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい				

担当教員	林 明宏 平塚 義治 高須 博士	川崎 友裕 明比 祐子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
------	------------------------	----------------	-------------	------	------	-------

授業の概要 人体の正常な構造とはたらきを正確に理解することで疾病・障害の成り立ちが理解できる。呼吸器系、循環器系、泌尿器系、内分泌系、運動器系の構造とはたらきを専門的に学び、看護に必要な健康や疾病・障害に関する観察力、洞察力を養う。

到達目標 1. 呼吸器、循環器、泌尿器、内分泌の構造と機能を学びヒトの恒常性の維持について理解する。
2. 運動器の仕組みを理解する。
3. 解剖生理全般を統合的に理解する。

回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
1	呼吸器系① 呼吸器系の構造と機能①	講義	教科書対応部分を読んでおく	林
2	呼吸器系② 呼吸器系の構造と機能② 呼吸のプロセス	講義		林
3	呼吸器系③ 呼吸の調節 呼吸器系の成長と老化	講義		林
4	循環器系① 心臓 血管と循環	講義		川崎
5	循環器系② 血管と循環 血管の成長と老化	講義		川崎
6	循環器系③ リンパ系	講義		川崎
7	泌尿器系① 腎臓 尿管 膀胱 尿道	講義		平塚
8	泌尿器系② 排尿の生理 泌尿器系の成長と老化	講義		平塚
9	内分泌系① 内分泌系とホルモン 脳にあるホルモン分泌器官	講義		明比
10	内分泌系② 甲状腺 上皮小体 膵臓	講義		明比
11	内分泌系③ 副腎 性腺	講義		明比
12	内分泌系④ 古典的内分泌器官以外のホルモン分泌器官 内分泌系の成長と老化	講義		明比
13	運動器系① 骨格系総論	講義		高須
14	運動器系② 骨格系各論	講義		高須
15	運動器系③ 筋系	講義		高須

使用テキスト等 ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 【メディカ出版】
イメージできる病態生理学 【メディカ出版】
イメージできる解剖生理学 【メディカ出版】
イメージできる生化学・栄養学 【メディカ出版】

主たる参考図書・文献 系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能① 【医学書院】

評価方法 終講試験(筆記試験、小テスト)

学生へのメッセージ 解剖生理学は全ての科目の基礎となる重要な科目である
自ら興味をもって積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい

分野: 専門基礎分野		科目: 生化学		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】		
担当教員	佐藤 秀明 原田 二郎	杉島 正一 塚口 舞	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	化学の基礎知識をもとに生体の恒常性を保ち、生命が成り立っている仕組みを理解し、健康や疾病に関する観察力を養う。					
到達目標	1. 化学の基礎を理解し、生体の生命維持、活動に必要な生体物質の構造と機能を説明できる。 2. 栄養素の消化・吸収と代謝について説明できる。 3. 代謝異常による疾病について説明できる。 4. 遺伝情報とその発現、遺伝子異常による疾病について説明できる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	化学の基礎 (元素、結合、同位体、pHなど) 細胞	講義	教科書2章1,2 を音読	杉島	
	2	生体物質の構造と性質(1): 糖質、脂質	講義	教科書2章3,4 を音読	杉島	
	3	生体物質の構造と性質(2): タンパク質、核酸	講義	教科書2章4,5 を音読	杉島	
	4	生体物質の構造と性質(3): ビタミン	講義	教科書2章6を 音読	杉島	
	5	ミネラル・酵素	講義	教科書3章を 音読	杉島	
	6	代謝総論	講義	教科書1章を 音読	佐藤	
	7	糖質代謝(1)	講義	教科書4-1章1 ~4を音読	佐藤	
	8	糖質代謝(2) 脂質代謝(1)	講義	教科書4-1章 5,6と4-2章1~ 3を音読	佐藤	
	9	脂質代謝(2)	講義	教科書4-2章4 ~10を音読	佐藤	
	10	タンパク質とアミノ酸の代謝(1)	講義	教科書4-3章 を音読	原田	
	11	アミノ酸の代謝(2)	講義	教科書4-4章 を音読	原田	
	12	ヘムの代謝と核酸の代謝	講義	教科書5章を 音読	原田	
	13	核酸の代謝・代謝異常	講義	教科書7章を 音読	原田	
	14	遺伝情報(1) DNA複製、転写	講義	教科書6章1~ 3を音読	塚口	
15	遺伝情報(2) 翻訳	講義	教科書6章4~ 6を音読	塚口		
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 臨床生化学【メディカ出版】 イメージできる生化学・栄養学【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学【医学書院】					
評価方法	終講試験(筆記試験・小テスト・演習問題・レポート)					
学生へのメッセージ	講義には筆記用具を持参すること					

分野: 専門基礎分野 科目: 栄養学 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	平山 貴恵 作間 理恵子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人間にとっての栄養について理解し、健康を維持できない状態の対象に生活全般からの保健指導、栄養指導の必要性を考えることができる。				
到達目標	1. 適切な栄養摂取、栄養素のバランス、栄養素の過不足などによる身体変化についてアセスメントできる。 2. 病院食の特徴について説明できる。 3. ライフステージにおける栄養と栄養食事療法について学ぶ。 4. 栄養食事療法におけるチーム医療の実際が理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	臨床栄養学の基礎① 3大栄養素	講義		平山
	2	臨床栄養学の基礎② その他の栄養素	講義		平山
	3	栄養アセスメント	講義		平山
	4	エネルギー代謝	講義		平山
	5	食品成分と食事摂取基準	講義		作間
	6	ライフステージ別栄養① 乳児期～青年期	講義		作間
	7	ライフステージ別栄養② 成人期・妊娠期・授乳期	講義		作間
	8	ライフステージ別栄養③ 高齢期	講義		作間
	9	療養生活と栄養	講義		平山
	10	疾患別栄養食事療法① 消化器疾患	講義		作間
	11	疾患別栄養食事療法② 内分泌・代謝疾患	講義		作間
	12	疾患別栄養食事療法③ 循環器疾患 腎疾患	講義		作間
	13	場面別栄養管理 嚥下障害・周術期・がん	講義		平山
	14	栄養食事指導の実際	講義		平山
15	まとめ	講義		平山	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進④ 臨床栄養学【メディカ出版】 糖尿病食事療法のための食品交換表【日本糖尿病協会・文光堂】 イメージできる生化学・栄養学【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 別巻 栄養食事療法【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験、演習レポート)				
学生へのメッセージ	予習・復習をしっかりと行いましょう				

担当教員	西田 直代	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習
授業の概要	健康から疾病に至る生体に共通する病理的变化や発生機序、プロセスについて学ぶ。				
到達目標	1. 生体のシステムと病気、生命現象を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	序論 体液の異常	講義		西田
	2	血行障害	講義		西田
	3	炎症と修復	講義		西田
	4	免疫および免疫疾患 感染	講義		西田
	5	変性・壊死・萎縮・老化	講義		西田
	6	腫瘍と過形成	講義		西田
	7	先天異常	講義		西田
	8	代謝異常	講義		西田
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進① 病態生理学【メディカ出版】 ナーシング・サプリー 改訂2版 イメージできる病態生理学【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野						科目 : 疾病論 I (呼吸器)		【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】	
担当教員	宮川 洋介		年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習			
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 呼吸器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解し看護過程の展開に役立てる。								
到達目標	1. 呼吸器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	解剖と生理	講義		宮川				
	2	症候	講義		宮川				
	3	検査	講義		宮川				
	4	治療と処置・呼吸リハビリテーション	講義		宮川				
	5	呼吸不全・酸素化障害・換気障害	講義		宮川				
	6	肺循環障害・呼吸器感染症	講義		宮川				
	7	肺がん	講義		宮川				
	8	免疫アレルギー・胸膜疾患	講義		宮川				
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護 ①呼吸器 【MCメディカ出版】								
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能 ①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学 【MCメディカ出版】								
評価方法	終講試験(筆記試験)								
学生へのメッセージ									

分野: 専門基礎分野		科目: 疾病論Ⅱ (循環器、血液・造血器)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	川崎 友裕 折田 義也 古賀 清和 末松 栄一	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 循環器疾患、血液・造血器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解し看護過程の展開に役立てる。				
到達目標	1. 循環器疾患、血液・造血器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	循環器の構造と機能	講義		川崎
	2	循環器機能の異常とそこから引き起こされる症候と看護	講義		川崎
	3	冠血流障害(虚血性心疾患)	講義		川崎
	4	心臓の基礎、検査について	講義		折田
	5	心不全について	講義		折田
	6	頻脈性不整脈	講義		折田
	7	不整脈	講義		折田
	8	高血圧について	講義		折田
	9	ショックについて	講義		折田
	10	特殊検査について	講義		折田
	11	心臓について(まとめ)	講義		折田
	12	先天性心疾患	講義		古賀(清)
	13	血液学(貧血、血小板減少、凝固異常)	講義		末松
	14	血液学(白血病、MDS)	講義		末松
15	血液学(悪性リンパ腫)	講義		末松	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護 ②循環器 疾患と看護 ④血液/アレルギー・膠原病/感染症 【MCメディカ出版】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野

科目: 疾病論Ⅲ
(消化器、腎・泌尿器)

【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】

担当教員	中村 弘毅 高尾 貴史 池添 清彦 松本 有里子 徳田 雄治	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害、とその回復過程について学ぶ。 消化器疾患、腎・泌尿器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解し看護過程の展開に役立てる。				
到達目標	1. 消化器疾患、腎・泌尿器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	消化器の検査と看護	講義		中村
	2	消化器疾患の主な治療・処置と看護	講義		中村
	3	消化器の疾患と看護① 食道の疾患	講義		中村
	4	消化器の疾患と看護② 胃・十二指腸疾患	講義		中村
	5	消化器の疾患と看護③ 小腸・大腸・肛門疾患	講義		中村
	6	消化器の疾患と看護④ 肝臓の疾患①	講義		高尾
	7	消化器の疾患と看護⑤ 胆・膵の疾患②	講義		高尾
	8	消化器の疾患と看護⑤ 胆道系の疾患	講義		池添
	9	消化器の疾患と看護⑦ 腹膜・腹壁・横隔膜の疾患	講義		池添
	10	腎機能の障害と治療 腎機能障害の検査	講義		松本
	11	腎臓の疾患と看護① 腎不全	講義		松本
	12	腎臓の疾患と看護② 原発性糸球体腎炎 高血圧および腎血管障害	講義		松本
	13	腎臓の疾患と看護③ 尿細管・間質性疾患 全身性疾患に伴う腎障害 嚢胞性腎疾患	講義		松本
	14	泌尿器疾患と看護① 尿路・男性生殖器の感染症 下部尿路機能障害	講義		徳田
15	泌尿器疾患と看護② 尿路・男性生殖器の腫瘍性疾患 男性生殖器疾患 その他の尿路疾患	講義		徳田	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護③消化器 疾患と看護⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 【MCメディカ出版】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 疾病論Ⅳ(内分泌・代謝) 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	川崎 英二 廣松 雄治	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害、とその回復過程について学ぶ。 内分泌・代謝疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解し看護過程の展開に役立てる。				
到達目標	1. 内分泌・代謝疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	内分泌機能の障害 内分泌機能障害の診察・検査	講義		廣松
	2	内分泌・代謝疾患と看護① 視床下部・下垂体疾患	講義		廣松
	3	内分泌・代謝疾患と看護② 甲状腺疾患・副甲状腺疾患	講義		廣松
	4	内分泌・代謝疾患と看護③ 副腎疾患・クリーゼ	講義		廣松
	5	代謝疾患の理解	講義		川崎
	6	内分泌・代謝疾患と看護④ 糖代謝異常(糖尿病)	講義		川崎
	7	内分泌・代謝疾患と看護⑤ 糖代謝異常(糖尿病)	講義		川崎
	8	内分泌・代謝疾患と看護⑥ その他の代謝・栄養疾患	講義		川崎
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 【MCメディカ出版】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学 健康の回復と看護②栄養代謝機能障害				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野						科目: 疾病論V (運動器、脳・神経)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	二之宮 謙一 牟田口 滋	一ツ松 勤 澁谷 統壽 石堂 克哉	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義	演習		
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 運動器、脳・神経系に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解し、看護過程の展開に役立てる。								
到達目標	1. 運動器疾患、脳・神経疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	運動器の異常でみられる症候 整形外科で行われる検査と看護	講義		牟田口				
	2	運動器疾患の主な治療・処置と看護	講義		牟田口				
	3	運動機能障害① 骨格系の運動機能とその障害	講義		牟田口				
	4	運動機能障害② 脊椎の運動機能とその障害	講義		二之宮				
	5	運動機能障害③ 関節の運動機能とその障害	講義		二之宮				
	6	運動機能障害④ 筋肉の腫瘍・変性や神経に由来する運動機能障害	講義		二之宮				
	7	運動機能障害⑤ その他の骨・軟部組織の運動機能障害	講義		牟田口				
	8	運動機能障害のまとめ	講義		牟田口				
	9	脳・神経疾患を理解する基礎知識	講義		澁谷				
	10	脳・脊髄の感染症 変性疾患 末梢神経障害	講義		澁谷				
	11	頭部外傷 水頭症	講義		石堂				
	12	脳・神経疾患の検査と看護 脳・神経疾患の主な治療と看護	講義		石堂				
	13	パーキンソン病を含む基底核疾患 認知症	講義		澁谷				
	14	脳脊髄総論 脳神経(12種類)	講義		一ツ松				
15	脳 各疾患(脳卒中など)	講義		一ツ松					
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑤脳・神経 疾患と看護⑦運動器 【メディカ出版】								
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学								
評価方法	終講試験(筆記試験)								
学生へのメッセージ									

分野: 専門基礎分野 科目: 疾病論VI 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】						
(女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)						
担当教員	菅沼 明彦 中尾 佳史 小野 研	末松 栄一 馬場 美樹 白石 哲史	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 アレルギー疾患、膠原病、感染症の主な症状、病態生理、検査、治療について理解し、観察力・判断力を養う。					
到達目標	1. アレルギー、膠原病、感染症に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。 2. 女性生殖器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。 3. 放射線治療の概要と画像診断の種類、放射線の人体への影響と防護について理解する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	アレルギー・膠原病① 免疫機能障害を学ぶための基礎知識	講義		末松	
	2	アレルギー・膠原病② 免疫機能の異常でみられる症候と看護	講義		末松	
	3	免疫機能の障害① 自己免疫疾患(膠原病を含む)	講義		末松	
	4	免疫機能の障害② アレルギー性疾患 アナフィラキシーショック・食物アレルギー・薬物アレルギー 免疫不全	講義		末松	
	5	感染症① 感染症を学ぶための基礎知識	講義		菅沼	
	6	感染症② 感染症と看護	講義		菅沼	
	7	感染症③ 感染症と看護	講義		菅沼	
	8	女性生殖器疾患を学ぶための基礎知識①	講義		中尾	
	9	女性生殖器の疾患と看護① 無月経 子宮筋腫	講義		中尾	
	10	女性生殖器の疾患と看護② 悪性腫瘍	講義		中尾	
	11	女性生殖器の疾患と看護③ 卵巣疾患 婦人科感染症	講義		中尾	
	12	乳がんについて(総論)	講義		馬場	
	13	画像診断	講義		小野	
	14	放射線治療	講義		小野	
15	放射線医学	講義		白石		
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症 疾患と看護⑨女性生殖器 【メディカ出版】 系統別看護学講座 別巻 臨床放射線医学 【医学書院】					
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学					
評価方法	終講試験(筆記試験)					
学生へのメッセージ						

分野: 専門基礎分野						科目: 疾病論Ⅶ (皮膚・眼・耳鼻咽喉・歯・口腔)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	山口 隆広 鈴木 久美子	橋本 佳典 豊福 司生	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習			
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、歯・口腔疾患の主な症状、病態生理、検査、治療について理解し、観察力・判断力を養う。								
到達目標	1. 皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、歯・口腔疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	皮膚の疾患を学ぶための基礎知識① 皮膚の構造と機能	講義		山口				
	2	皮膚の疾患を学ぶための基礎知識② 皮膚疾患の主な治療・処置 皮膚の疾患と看護①	講義		山口				
	3	皮膚の疾患と看護② 疥癬 褥瘡	講義		山口				
	4	皮膚の疾患と看護③ 透析患者の皮膚の症状	講義		山口				
	5	眼の疾患を学ぶための基礎知識① 眼の構造と機能 眼の異常でみられる症候	講義		橋本				
	6	眼の疾患を学ぶための基礎知識② 眼科で行われる検査 眼疾患の主な治療・処置	講義		橋本				
	7	眼の疾患と看護①	講義		橋本				
	8	眼の疾患と看護②	講義		橋本				
	9	耳鼻咽喉の疾患を学ぶための基礎知識 耳鼻咽喉の構造と機能 耳鼻咽喉の異常でみられる症候 耳鼻咽喉科で行われる検査	講義		鈴木				
	10	副鼻腔・舌	講義		鈴木				
	11	咽喉頭、唾液腺	講義		鈴木				
	12	歯・口腔の疾患を学ぶための基礎知識 歯・口腔の構造と機能	講義		豊福				
	13	歯科 疾患・症状	講義		豊福				
	14	歯科 歯・口腔疾患患者の看護	講義		豊福				
15	歯科 口腔ケア	講義		豊福					
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚 【MCメディカ出版】								
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学 【MCメディカ出版】								
評価方法	終講試験(筆記試験)								
学生へのメッセージ									

分野: 専門基礎分野 科目: 薬理学						【1単位: 30時間 授業回数: 15回】	
担当教員	久保昌平 坂本健太郎 安田 和樹		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	薬物の種類、作用機序、保管方法を理解し、治療に使用される薬物が人体に及ぼす影響を理解するための基礎知識を学ぶ。						
到達目標	1. 薬物療法のしくみを理解する 2. 薬剤の安全な使用(効果的な活用と薬害の防止)について理解する						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	医薬品総論	講義		久保		
	2	生活習慣病に使用する薬 (生活習慣病～心不全)	講義		久保		
	3	生活習慣病に使用する薬(脂質異常症～脳血管障害)	講義		久保		
	4	がん・痛みに使用する薬	講義		坂本		
	5	脳・中枢神経系疾患で使用する薬①	講義		久保		
	6	脳・中枢神経系疾患で使用する薬②	講義		久保		
	7	感染症に使用する薬	講義		安田		
	8	救命救急時に使用する薬	講義		安田		
	9	アレルギー・免疫不全状態の患者に使用する薬 (喘息、呼吸器)	講義		坂本		
	10	アレルギー・免疫不全状態の患者に使用する薬 (リウマチ、SLE)	講義		坂本		
	11	消化器系疾患に使用する薬	講義		坂本		
	12	その他の症状に使用する薬(代謝障害、内分泌、 腎機能障害)	講義		安田		
	13	その他の症状に使用する薬(血液・造血器障害、 輸液)	講義		安田		
	14	その他の症状に使用する薬(運動機能障害、性 ホルモン、皮膚障害、視覚障害、痛み)	講義		久保		
15	まとめ	講義		久保			
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学【メディカ出版】 ナーシングサプリ イメージできる臨床薬理学【メディカ出版】						
主たる参考図書・文献	わかりやすい薬理学 第2版 【ヌーヴェルヒロカワ】						
評価方法	終講試験(筆記試験、受講状況、レポート)						
学生へのメッセージ							

分野: 専門基礎分野 科目: 微生物学 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	原 好勇 黒岩 晃	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	微生物の特徴と生体に及ぼす影響および感染に対する生体の防御反応を理解する。				
到達目標	1. ヒトに重要な影響を与える微生物の特徴を理解する。 2. 感染症について学び、関連する疾病の理解と感染予防の知識を深める。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	微生物学とは(序論)	講義	教科書の 該当項目を 予習しておく	原
	2	感染と発症	講義		原
	3	免疫応答	講義		原
	4	細菌の性質と生きるための戦略①	講義		黒岩
	5	細菌の性質と生きるための戦略②	講義		黒岩
	6	近ごろ話題の細菌たち①	講義		黒岩
	7	近ごろ話題の細菌たち②	講義		黒岩
	8	真菌の性質と生きるための戦略	講義		黒岩
	9	原虫の性質と生きるための戦略	講義		黒岩
	10	感染症からヒトを守る戦略 微生物の利用	講義		黒岩
	11	ウイルス感染症(1) 総論と呼吸器ウイルス	講義		原
	12	ウイルス感染症(2) 発疹症(麻疹、ヘルペス等)	講義		原
	13	ウイルス感染症(3) AIDS、昆虫・動物媒介性	講義		原
	14	ウイルス感染症(4) 下痢症、肝炎、出血熱、プリオン病	講義		原
15	感染症の予防・治療法	講義	原		
使用テキスト等	イラストでわかる微生物学入門 病原微生物の感染のしくみ 【南山堂】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験、受講状況、レポートなど)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 看護につなぐ 【 1単位: 30 時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	池西 静江 宮崎 亜矢子 高園 真理子 樋口 美樹 手島 淳介	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人間の日常生活行動において、身体の構造と機能をどのように使って営んでいるのかを理解する。さらに、障害されたときに身体はどのように変化し、生活に影響していくのか理解する				
学生の到達目標	1. 人間は、どのような身体のしくみで生きて、日常生活を営んでいるのかを理解し、説明できる。 2. 生きること、日常生活行動に障害を与える病態を説明できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	何のための生活行動か	講義		池西
	2	ホメオスターシス維持のための物質の流通	講義 GW		池西
	3	ホメオスターシス維持のための調節機構	講義 GW		池西
	4	人が動く・休むということ①	講義 GW		宮崎
	5	人が動く・休むということ②	講義 GW		宮崎
	6	人が動く・休むということ③	講義 GW		宮崎
	7	人が食べるということ①	講義 GW		高園
	8	人が食べるということ②	講義 GW		高園
	9	人が食べるということ③	講義 GW		高園
	10	人が排泄ということ①	講義 GW		樋口
	11	人が排泄ということ②	講義 GW		樋口
	12	人が排泄ということ③	講義 GW		樋口
	13	人が身体を清潔にということ①	講義 GW		手島
	14	人が身体を清潔にということ②	講義 GW		手島
	15	まとめ(TBL) 30点	講義 GW		宮崎
使用テキスト等	看護につなぐ人体の構造と機能【照林社】 ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	看護学生スタディガイド2025【照林社】				
評価方法	ワークシート、ポストテスト、まとめ(TBL)で総合的に評価する				
学生へのメッセージ	すべての講義が加点の対象になります。休まないようにしましょう。				

分野: 専門基礎分野 科目: 社会福祉 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	中野 繁広	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	国民の最低生活を保障する社会保障制度と、健康で自立した生活を支援するための社会福祉の制度について学ぶ。 少子、超高齢者社会を迎える我が国の今後の課題と展望を学ぶ。				
到達目標	1. 社会保障や社会福祉の各制度と、相互連携の重要性を理解する。 2. 対象を総合的に支えるための方法を理解する。 3. 社会福祉における看護師の役割と専門職種との連携を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	現代社会と社会福祉・社会保障 暮らしと社会福祉・社会保障①	講義	社会保障に関連する法律を調べる	中野
	2	暮らしと社会福祉・社会保障②	講義	今の自分と、両親世代とのライフスタイルの変化について考えてくる	中野
	3	暮らしと社会福祉・社会保障③	講義		中野
	4	福祉の実践・資源の活用	講義		中野
	5	ライフサイクルと社会福祉①	講義		中野
	6	ライフサイクルと社会福祉②	講義		中野
	7	ライフサイクルと社会福祉③	講義		中野
	8	ライフサイクルと社会福祉③	講義	生活保護に関する新聞記事の内容を要約する	中野
	9	生活保護	講義		中野
	10	社会保障(社会保険)制度①	講義		中野
	11	社会保障(社会保険)制度②	講義		中野
	12	社会保障(社会保険)制度③	講義	介護保険制度に関する新聞記事の内容を要約する	中野
	13	社会保障(社会保険)制度④	講義		中野
	14	地域福祉の推進	講義		中野
15	社会福祉のまとめ・試験対策	講義		中野	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	国民衛生の動向 国民衛生の動向【厚生統計協会】				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野:専門基礎分野 科目:看護関係法令 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】					
担当教員	田中 圭子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義
授業の概要	国民の健康を守り、生命に直接関係する医療人として、与えられた責務を正しく遂行するための保健医療福祉制度に関する法律及び看護師に必要な法令を学ぶ。				
到達目標	1. 看護活動に関連する法規を学習し、看護業務の範囲や法的内容を理解する。 2. より良い看護実践のために、保健・医療・福祉に関する各種制度や法令を理解する。 3. 看護関係法令を通して、看護職もチームの一員であることを自覚する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	「保健医療福祉と法の関わりかた」 1 チーム医療と法の構造 2 医療提供の理念と医療安全:医療法での扱い	講義	事前予習 テキストを読む	田中
	2	「看護をめぐる法」① 看護職の基本となる法律(保健師助産師看護師法、 看護師等人材確保に関する法律)	講義	事前予習 テキストを読む	田中
	3	「看護をめぐる法」② 医療・福祉専門職等に関する法(医師法、社会福祉 及び介護福祉法、栄養士法など)	講義	事前予習 テキストを読む	田中
	4	「看護をめぐる法」③ 1 物に関する法律(医薬品・医療機器等法、麻薬及 び向精神薬取締法など) 2 場所に関する法律(医療法、感染症法、予防接種 法、健康増進法など)	講義	事前予習 テキストを読む	田中
	5	「看護をめぐる法」④ お金によって支えるシステムに関する法律 (社会保険法、高齢者医療確保法、介護保険法など)	講義	事前予習 テキストを読む	田中
	6	「看護をめぐる法」⑤ 特別な配慮を必要とする人に関する法律 (生活保護法、母子保健法、精神保健福祉法、精神・ 身体・知的障害者福祉法、児童虐待防止法など)	講義	事前予習 テキストを読む	田中
	7	「看護をめぐる法」⑥ 1 医療政策・福祉政策・災害政策・労働政策・環境政 策等に関する法律)	講義	事前予習 テキストを読む	田中
	8	「法律を取り巻く考えかた」 1 インフォームドコンセント 2 看護過誤(医療過誤) 3 法と生命倫理	講義	事前予習 テキストを読む	田中
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障④ 看護をめぐる法と制度【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	看護六法 国民衛生の動向				
評価方法	終講試験(筆記試験)、授業態度				
学生へのメッセージ	講義前にテキストの該当部分を読み予習をすること。				

分野: 専門基礎分野 科目: 公衆衛生 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	糸瀬 孝子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	公衆衛生の幅広い学問体系および、個人や家族から地域・国レベルまでのさまざまな健康支援のあり方を学ぶ。				
到達目標	1. ヘルスプロモーションに基づくさまざまな公衆衛生活動を理解する。 2. 学生自身の健康とともに、総合的な健康づくりを考える。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	公衆衛生の歴史、公衆衛生システムと政策	講義		糸瀬
	2	公衆衛生の理念・概念	講義		糸瀬
	3	公衆衛生のものさし	講義		糸瀬
	4	公衆衛生活動のプロセス	講義		糸瀬
	5	日本人の健康と課題	講義		糸瀬
	6	親子保健	講義		糸瀬
	7	高齢者保健医療福祉、歯科保健	講義		糸瀬
	8	精神保健福祉	講義		糸瀬
	9	難病対策	講義		糸瀬
	10	健康危機管理と災害	講義		糸瀬
	11	感染症対策	講義		糸瀬
	12	学校保健	講義		糸瀬
	13	産業保健	講義		糸瀬
	14	環境保健	講義		糸瀬
15	国際保健	講義		糸瀬	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障② 公衆衛生【メディカ出版】 国民衛生の動向【厚生統計協会】				
主たる参考図書・文献	シンプル衛生公衆衛生学【南江堂】など				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 総合医療論

【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	平松 義博 藤堂 省 加藤 光樹	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	医療の歴史と現代の医療、我々の日常生活と密着した医療のあり方について学び、医療全般の概要をとらえる。				
到達目標	1. いのちと健康に向き合う医療の原点について理解する。 2. わが国の医療業界におけるさまざまな課題を考えることができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	総合医療論 序章 第1章 医療と看護の原点一病と癒し	講義	自分や家族・知人の病気体験から感じたことを想起してくる	平松
	2	第2章 医療の歩みと医療観の変遷	講義		平松
	3	第3章 私たちの生活と医療	講義	「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」の具体的な内容を調べてくる	平松
	4	第4章 科学の技術進歩と現代医療の最前線	講義		平松
	5	現代医療の問題点	講義		藤堂
	6	DPCと臓器移植	講義		藤堂
	7	医療を見つめ直す新しい視点 保健・医療・介護・福祉の近未来像①	講義	新聞の医療に関する記事を要約してくる	加藤
	8	保健・医療・介護・福祉の近未来像②	講義		加藤
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 総合医療論 【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 暮らしを支えるチームケア 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】					
担当教員	池西 静江 西 恵美子 宮崎 亜矢子	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	他職種の学生と共に学び合う授業を通して、対象の健康と生活(暮らし)を支えるために多職種と連携・協働できる能力を養うとともに、保健・医療・介護・福祉チームにおける看護師の役割・責務・専門性を学ぶ。				
到達目標	1. 看護師の役割と責務、多職種の役割と責務およびお互いの専門性を共有する。 2. 多職種間のコミュニケーション能力を身につける。 3. それぞれの専門性を活かし、対象の暮らしに沿った退院支援を共に考える。 4. 対象にとっての多職種連携・協働の意義を考える。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	科目の意義、具体的な進め方、評価方法 看護職における責任と役割 多職種連携・協働 チーム医療	講義 事例提示 グループ ワーク		西 宮崎
	2	【協働学習①】 多職種協働とは チームビルディング 事例検討	講義 協働学習	場所: 久留米リハビリテーション 学院	池西 西 宮崎
	3				
	4	【協働学習②】 事例検討 まとめ 発表準備	協働学習	場所: 久留米リハビリテーション 学院	西 宮崎
	5				
	6	【協働学習③】 発表	協働学習 発表	場所: 久留米リハビリテーション 学院	西 宮崎
	7				
	8	まとめ			西 宮崎
使用テキスト等	配布資料				
主たる参考図書・文献	ナーシンググラフィカ 18巻 基礎看護学① 看護学概論【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ 23巻 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ 31巻 老年看護学① 高齢者の健康と障害【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ 41巻 看護の統合と実践① 看護管理【メディカ出版】				
評価方法	グループワーク(協働学習準備、参加状況、発表など) 出席 レポート				
学生へのメッセージ	久留米リハビリテーション学院、八女筑後看護専門学校の学生の皆さんとの協働学習を楽しみましょう				

分野: 専門基礎分野: 看護の場を知る

【 1単位: 15 時間 授業回数: 8回 】

担当教員	大久保 純子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護の対象、看護活動の場を知ることで看護の役割について理解する。				
学生の到達目標	1. 看護の対象を理解する。 2. 看護活動の場を体験し、看護の見方・考え方を学ぶ。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護の対象とは 看護活動の場とは	講義		大久保
	2	看護活動の場の見学について学修①	講義 GW		大久保
	3	看護活動の場の見学について学修②	講義 GW		大久保
	4	施設見学① 看護活動の場の見学	施設見学		大久保
	5	施設見学② 看護活動の場の見学	施設見学		大久保
	6	看護の対象、看護活動の場のまとめ①	GW		大久保
	7	看護の対象、看護活動の場のまとめ②	発表		大久保
	8	看護の対象、看護活動の場のまとめ③	発表		大久保
使用テキスト等	看護の仕事がわかる本 菱沼 典子 著【日本実業出版社】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論【医学書院】				
評価方法	事前学修、レポート、GW参加状況などで総合的に評価する				
学生へのメッセージ	事前学修をして講義に臨むこと				

専門分野

分野: 専門分野		科目: 看護学概論		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回	
担当教員	西 恵美子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習		
授業の概要	看護の歴史の変遷と理論家や看護職能集団による看護の定義を学び、看護の本質とは何かを考える。さらに看護の対象や看護の場、看護倫理、看護システム、看護の国際化を学び、実際の看護活動や今後の看護のあり方について考える。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の概念・役割・機能、看護活動の場について理解する。 2. 看護の歴史の変遷を理解する。 3. 看護の対象である人間を理解する。 4. 保健医療福祉チームにおける看護の機能と役割を理解する。 5. 医療の場における倫理的配慮の必要性を知り、行動できる。 6. 看護の国際化を学び、今後の看護のあり方について考えることができる。 						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	「看護覚え書」ナイチンゲールから生活(健康)を考える①	グループワーク	「看護覚え書」を読む 自分の生活を考える	西		
	2	「看護覚え書」ナイチンゲールから生活(健康)を考える②	グループワーク		西		
	3	看護学概論で何を学ぶか 「今、私の考える看護」 第1部 看護における基本的な概念① 1. 看護への導入①	講義 グループワーク	事前課題	西		
	4	第1部 看護における基本的な概念② 1. 看護への導入② 施設見学準備	講義 グループワーク	事前課題	西		
	5	第1部 看護における基本的な概念③ 2. 看護の対象と理解	講義	事前課題	西		
	6	第1部 看護における基本的な概念④ 3. 健康と病気におけるウェルネスの促進	講義	事前課題	西		
	7	デイサービスに参加し、看護保健・医療・福祉システムを知る 看護の役割および看護ケアの基本的役割に気づく 他職種連携の実際を知る	演習(施設) Kogaケアアベニュー	グループで参加する	西		
	8	第1部 看護における基本的な概念⑤ 4. ライフサイクルと健康	講義		西		
	9	第2部 看護の理論と実践① 5. 看護実践のための理論的根拠	講義		西		
	10	第2部 看護の理論と実践② 6. 看護における倫理と価値①	講義		西		
	11	第2部 看護の理論と実践③ 6. 看護における倫理と価値② 事例から考える看護における倫理	講義 グループワーク		西		
	12	第2部 看護の理論と実践④ 7. 看護ケアの基本的役割 8. 看護過程	講義		西		
	13	第3部 社会的機能としての看護① 9. 看護における法的側面 10. 保健・医療・福祉システム①	講義		西		
	14	第3部 社会的機能としての看護② 10. 保健・医療・福祉システム② 11. 看護の展開と継続性	講義		西		
15	第4部 看護の統合と今後の展望	講義		西			
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 専門分野 看護学概論【MCメディカ出版】 看護覚え書【現代社】						
主たる参考図書・文献	看護者の基本的責務【日本看護協会出版社】 患者さんの声に学ぶ看護倫理【日本看護協会出版社】 国民衛生の動向【厚生統計協会】 「看護覚え書」に学ぶ生活科学ガイドブック【アノック】						
評価方法	終講試験 事前課題、レポート、ポストテストなど						
学生へのメッセージ							

分野: 専門分野 科目: 看護理論 【 1単位: 15 時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	西 恵美子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護の見方、考え方の基盤として看護理論全般について学修し、代表的な理論家の理論内容を看護実践へ活用する方法について学修する。 看護理論とは何か、理論構築の過程など理論学習に必要な概念や、それぞれの理論家の看護のメタパラダイムや理論内容について講義や発表を組み合わせる。				
学生の到達目標	1. 看護理論を学ぶ目的・意義が理解できる。 2. 看護理論を実践へ活用する方法について理解する。 3. 看護理論を学習することにより、看護の見方・考え方の基礎を習得する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	第1章 なぜ看護理論を学ぶのか 看護理論になじもう	講義	事前課題 「私の看護観」 事前ワーク	西
	2	第2章 8つの看護理論 4つの理論のまとめ 1. ナイチンゲール 2. ウィーデンバック 3. ロイ 4. ベナー	講義 グループ ワーク	事前ワーク	西
	3	看護理論の活用① 看護理論調べ ペプロウ ヘンダーソン トラベルビー オレム	グループワーク 個人ワーク		西
	4	看護理論の活用② 実習で経験した場面と看護理論の活用	グループワーク 個人ワーク		西
	5	看護理論の活用③ 実習で経験した場面と看護理論の活用	グループワーク 個人ワーク		西
	6	看護理論の活用④ 実習で経験した場面と看護理論の活用	グループワーク 個人ワーク		西
	7	看護理論の活用⑤ 実習で経験した場面と看護理論の活用	グループワーク 個人ワーク		西
	8	まとめ	発表		西
使用テキスト等	重要なところだけ、短時間でわかりやすく読む看護理論【日総研】				
主たる参考図書・文献	看護学概論【ナーシンググラフィカ】 看護覚え書【現代社】 看護の基本となるもの【日本看護協会】 ペプロウ人間関係の看護論【医学書院】 人間対人間の看護【医学書院】 オレムのセルフケア不足理論【照林社】 ロイの適応モデル【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野 科目: 生活援助技術Ⅰ (看護技術とは 環境) 【1単位:15時間 授業回数: 8回】					
担当教員	高園 真理子 川原 千恵美	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学修する。				
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護技術とは何か	講義 GW	テキストを 読んでおく	高園
	2	快適な環境をつくる技術 環境の意義	講義 GW		川原(高園)
	3	環境を整える技術① 快適さを保つ構造	講義 GW		川原(高園)
	4	環境を整える技術② 病室の環境と病床の整備	講義 GW		高園
	5	療養環境のアセスメント	演習		高園
	6	病床を整える援助① ベッドメイキング	演習		高園
	7	病床を整える援助② ベッドメイキング (安全な療養環境の整備—転倒・転落・外傷予防—)	演習		高園
	8	病床を整える援助③ リネン交換 (臥床患者のリネン交換)	演習		高園
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 【メディカ出版】 看護がみえるvol.1 基礎看護技術 【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験・小レポート)				
学生へのメッセージ	基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください また、演習前には課題の提示をします				

分野: 専門分野 科目: 生活援助技術Ⅱ
(清潔・衣生活)

【1単位: 30時間 授業回数: 15回】

担当教員	森 真澄	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学修する。					
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	清潔援助の基礎知識 皮膚・粘膜の構造と機能 清潔援助の効果 患者の状態に応じた援助の決定と留意点	講義 GW	講義前に 教科書を読 んでくる 演習前に 看護技術を まとめてお く	森	
	2	清潔援助の方法① 全身清拭、陰部洗浄	講義 GW		森	
	3	清潔援助の方法② 洗髪、手浴・足浴、入浴	講義 GW		森	
	4	清潔援助の実際①	演習		森	
	5	清潔援助の実際② 手浴・足浴(手浴・足浴)	演習		森	
	6				森	
	7	清潔援助の実際③ 洗髪(洗髪台・ケリーパット)	演習		森	
	8				森	
	9	清潔援助の実際④ 全身清拭(清拭)	演習		森	
	10				森	
	11	整容の基礎知識と方法(整容)	講義 演習		森	
	12	口腔ケアの基礎知識と方法(口腔ケア)	講義 演習		森	
	13	衣生活の基礎知識と方法	講義		森	
	14	寝衣交換 (点滴・ドレーン等を留置していない患者の寝衣 交換)	演習		森	
15	森					
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ【メディカ出版】 看護がみえるvol.1 基礎看護技術 【メディックメディア】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ【医学書院】					
評価方法	技術試験、終講試験(筆記試験・小レポート)					
学生へのメッセージ	基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください また、演習前には課題の提示をします					

分野: 専門分野 科目: 生活援助技術 Ⅲ (活動・休息)		【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】			
担当教員	福田 早苗 西 恵美子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学修する。				
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	安楽かつ快適さを確保する技術の基礎知識 抗重力メカニズム 身体への影響 同一体位の弊害 安楽な姿勢・体位の保持	講義	授業前にテキストの2章 (安楽な体位)を読んで くこと	福田 (西)
	2	活動・運動を支援する技術② (体位変換・保持) 安楽かつ快適さを確保する技術 (ポジショニング)	講義	授業前にテキストの7章 を読んでくる こと	
	3	活動・運動を支援する技術の基礎知識① 意義 生理学的メカニズム ニーズのアセスメント 障害	講義		
	4	活動・運動を支援する技術の基礎知識② 援助の実際	講義		
	5	活動・運動を支援する技術③ (歩行・移動介助)(ストレッチャー移送)	演習		
	6	活動・運動を支援する技術④ (移乗介助)	演習		
	7	活動・運動を支援する技術④ (移乗介助)	演習		
	8	睡眠・休息を促す技術の基礎知識 意義 生理学的メカニズム ニーズのアセスメント 障害 援助の実際	講義	授業前にテキストの8章 を読んでくる こと	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ【メディカ出版】 看護がみえるvol. 1 基礎看護技術【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験・課題レポート・態度)				
学生へのメッセージ	基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください また、演習前に課題の提示をすることがあります				

分野: 専門分野 科目: 生活援助技術Ⅳ(食事・排泄) 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】

担当教員	樋口 美樹 森 真澄	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習
------	------------	-------------	------	------	----	----

授業の概要 基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学修する。

到達目標 1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する。
2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。

授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	食事・栄養を促す技術① 食事と栄養に関する基礎知識 医療施設で提供される食事	講義	講義前に 教科書を読ん でくる	樋口(森)
2	食事・栄養を促す技術② 栄養状態のアセスメント	講義	樋口(森)		
3	食事・栄養を促す技術③ 経口摂取の援助	講義	樋口(森)		
4	食事・栄養を促す技術④ 非経口的栄養摂取の援助	講義	樋口(森)		
5	食事・栄養を促す技術⑤ 食事介助(嚥下障害のある患者を除く)	演習	樋口(森)		
6	食事・栄養を促す技術⑥ 経管栄養(経鼻胃チューブの挿入)	演習	樋口(森)		
7	排泄を促す援助① 排尿・排便の基礎知識	講義	樋口(森)		
8	排泄を促す援助② 排尿・排便のニーズのアセスメント	講義	樋口(森)		
9	排泄を促す援助③ 排尿・排便障害の種類	講義	樋口(森)		
10	排泄を促す援助④ 排泄援助(床上、ポータブルトイレ、オムツ等)	講義	樋口(森)		
11	排泄を促す援助⑤ 排泄援助(床上、ポータブルトイレ、オムツ等)	演習	樋口(森)		
12	排泄を促す援助⑥ 排泄援助(床上、ポータブルトイレ、オムツ等)	演習	樋口(森)		
13	排泄を促す援助⑦ (導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入)	演習	樋口(森)		
14	排泄を促す援助⑧ (摘便)(浣腸)	講義	樋口(森)		
15	排泄を促す援助⑨ (摘便)(浣腸)	演習	樋口(森)		

使用テキスト等 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 【メディカ出版】
看護がみえる1・2

主たる参考図書・文献 系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 【医学書院】

評価方法 終講試験(筆記試験)

学生へのメッセージ 基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください

分野: 専門分野 科目: 看護共通技術 I (コミュニケーション) 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】					
担当教員	高園 真理子	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護実践の基盤となる対象の理解、共通する基本技術を科学的根拠に基づき学修する。				
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。 3. 人間関係を成立・発展させるために、コミュニケーション能力を身につける。				
授業計画		授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	ガイダンス コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの構成要素と成立	講義		高園
	2	コミュニケーションの種類 ①言語的コミュニケーション ②非言語的コミュニケーション	講義		高園
	3	コミュニケーションに影響する要因 ①コミュニケーションにおける4つの交流 ②コミュニケーションに影響する因子	講義		高園
	4	看護におけるコミュニケーション ①看護におけるコミュニケーションとは ②患者中心の看護面接技法	講義 演習		高園
	5	積極的傾聴と共感 ①積極的な傾聴と共感とは ②看護学生にとっての共感とは	講義 演習		高園
	6	関係構築のための技法 ①効果的なコミュニケーションの実際 ②コミュニケーション障害者への対応	講義 演習		高園
	7	援助過程とコミュニケーション ①プロセスレコードの目的と方法 ②プロセスレコード記載・評価方法	講義 演習		高園
	8	コミュニケーション障害のある対象への援助 ブラインドウオーキング	講義 演習		高園
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 基礎看護技術 I 【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)				
学生へのメッセージ					

担当教員	大久保純子 手島淳介 高園 真理子	年次・ 開講時期	1年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護実践の基盤となる対象の理解、共通する基本技術を科学的根拠に基づき学修する。				
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	ヘルスアセスメント① 問診、視診、触診、打診、聴診	講義・GW		手島(高園)
	2	ヘルスアセスメント② 身体計測、視診、触診、打診、聴診	講義・GW		手島(高園)
	3	ヘルスアセスメント③(身体計測) フェイスシート(基礎情報)	講義・GW		手島(高園)
	4	看護記録 看護記録とは 記載・管理における留意点 看護記録の構成	講義・GW		手島(高園)
	5	バイタルサイン測定①(バイタルサインの測定)	演習		大久保
	6	バイタルサイン測定②	演習		大久保
	7	バイタルサイン測定③	演習		大久保
	8	系統別アセスメント①(フィジカルアセスメント) 呼吸器	講義・演習	解剖生理学 予習	手島(高園)
	9				
	10	系統別アセスメント②(フィジカルアセスメント) 循環器	講義・演習	解剖生理学 予習	手島(高園)
	11				
	12	系統別アセスメント③(フィジカルアセスメント) 消化器	講義・演習	解剖生理学 予習	手島(高園)
	13	系統別アセスメント④(フィジカルアセスメント) 運動器	講義・演習		手島(高園)
	14	系統別アセスメント⑤(フィジカルアセスメント) 感覚器・神経系	講義・演習		手島(高園)
15	ヘルスアセスメント 社会・心理状態 生きるということ	講義・GW		手島(高園)	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 【メディカ出版】 フィジカルアセスメントがみえる【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護学Ⅰ【医学書院】 竹尾恵子 『看護技術プラクティス』【学研】				
評価方法	終講試験(筆記試験・小レポート)、受講状況など総合的に評価する				
学生へのメッセージ	解剖生理学をしっかり予習しておきましょう				

分野: 専門分野 科目: 看護共通技術Ⅲ (安全・安楽の技術) 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	樋口 美樹 手島淳介 高園 真理子	年次・ 開講時期	1年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護実践の基盤となる対象の理解、共通する基本技術を科学的根拠に基づき学修する。				
到達目標	1. 医療安全の重要性を理解し、安全確保の技術としての予防策ができる。 2. 苦痛の緩和、安楽の確保技術を修得する。 3. 感染の発生の要因を理解し、その防御のための知識と技術を修得する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	感染予防の基礎知識① 感染予防の意義、感染症について、標準予防策、感染経路別予防策	講義	授業前にテキストの4章を読んでくること	手島(高園)
	2	感染予防の基礎知識② 手指衛生・个人防护用具について、医療廃棄物の取り扱い	講義		
	3	感染予防の技術① (スタンダード・プリコーション(標準予防策)に基づく手洗い)(必要な防具用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択・着脱)(感染性廃棄物の取り扱い)	演習		
	4				
	5	安全確保の基礎知識① 医療安全の意義と安全確保について	講義	授業前にテキストの3章を読んでくること	樋口(高園)
	6	安全確保の基礎知識② 患者の安全、医療従事者の安全	講義		
	7	安全確保の技術① (ボディメカニクス)(安全な療養環境の整備(転倒・転落・外傷予防))	演習		
	8				
	9	安楽確保の基礎知識① 安楽の意義基礎看護技術における安楽を確保するための技術(安楽の促進・苦痛緩和のためのケア)(精神的安寧を保つためのケア)	講義 演習	授業前にテキストの2章を読んでくること	樋口(高園)
	10	体温を調整する技術① 温罨法(体温調節の援助)	演習	授業前にテキストの11章を読んでくること	
	11	体温を調整する技術② 冷罨法(体温調節の援助)	演習		
	12	感染予防の基礎知識③ 洗浄・消毒・滅菌、無菌操作	講義	授業前にテキストの4章を読んでくること	手島(高園)
	13	感染予防の技術② (無菌操作)(使用した器具の感染防止の取り扱い)	演習		
	14				
15	感染予防の基礎知識④ 組織における感染対策、針刺し切創事故、カテーテル関連血流感染	講義			
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 【メディカ出版】 看護がみえるvol. 1 基礎看護技術 【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験・小レポート)				
学生へのメッセージ	テキスト2章-4「安楽な体位」は生活援助技術Ⅲで実施します。予習、復習を行ってください。また、演習前に課題の提示をすることがあります。				

分野: 専門分野						科目: 看護共通技術Ⅳ (看護過程展開の技術)		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】	
担当教員	宮崎 亜矢子 森 真澄		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習		
授業の概要	看護過程の概念を学び、看護課題を解決するための展開の方法を理解する。								
到達目標	1. 看護過程の意義と目的が理解できる。 2. 看護過程の構成要素と思考プロセスについて理解できる。 3. 事例をもとに看護過程の展開をすることができる。 4. 看護計画に基づいた看護実践能力を養う。								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	看護過程とは 看護過程展開の基盤となる考え方	講義		宮崎 森				
	2	事例紹介 対象の理解	講義 演習		宮崎 森				
	3	対象の理解 アセスメント 情報の整理・分類① 主観的情報と客観的情報の区別	講義 演習		宮崎 森				
	4	アセスメント 情報の整理・分類② データの正確性・正確性をゆがめる要因 原因・誘因の分析①	講義 演習		宮崎 森				
	5	アセスメント 情報の整理・分類③ データの正確性・正確性をゆがめる要因 原因・誘因の分析②	講義 演習		宮崎 森				
	6	関連図・全体像 ①	講義 演習		宮崎 森				
	7	関連図・全体像 ② 看護問題の明確化 看護診断	講義 演習		宮崎 森				
	8	看護計画作成① 目標・成果・成果指標の設定	講義 演習		宮崎 森				
	9	看護計画作成② 看護計画の立案	講義 演習		宮崎 森				
	10	看護計画の実施	講義 演習		宮崎 森				
	11	看護計画の追加・修正	講義 演習		宮崎 森				
	12	客観的臨床能力試験(OSCE) 準備	講義 演習		宮崎 森				
	13	客観的臨床能力試験(OSCE)	演習		宮崎 森				
	14	客観的臨床能力試験(OSCE) リフレクション	講義 演習		宮崎 森				
15	看護要約	講義 演習		宮崎 森					
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ【メディカ出版】 看護がみえるvol.4 看護過程の展開【メディックメディア】								
主たる参考図書・文献	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅰ【医学書院】								
評価方法	看護過程展開の課題提出、OSCEで総合的に評価します								
学生へのメッセージ	自主的にかかわり、自分の考えをまとめ意見が言えるようにしましょう								

分野: 専門分野 科目: 診療の補助技術 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	手島 淳介 川原 千恵美 森 真澄	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	診察や検査、治療、処置の基本的知識と援助技術について、科学的根拠に基づいて学修する。 看護師の役割を理解し援助技術を修得する。				
到達目標	1. 診察や検査、治療、処置に必要な基礎的知識が理解でき、安全・安楽かつ正確に実施できる。 2. 検査・治療の意義および検査・治療における看護師の役割を述べるができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	検査・治療を安全かつ正確に行う技術 検査とは	講義	テキストを読んで事前学習をして望むこと	手島(森)
	2	診察・検査・処置の介助技術(検査の介助)(検体一尿、血液等一)の取り扱い 診察の介助 生体検査	講義		手島(森)
	3	穿刺・洗浄の介助の基礎知識・実際①	講義		手島(森)
	4	穿刺・洗浄の介助の基礎知識・実際②	講義		手島(森)
	5	与薬の基礎知識① 経口与薬・吸入の基礎知識と実際	講義		川原(森)
	6	与薬の基礎知識② 点眼・点鼻の基礎知識と実際	講義		川原(森)
	7	与薬の基礎知識③ 注射の実施法 皮下注射 皮内注射 筋肉注射	講義		川原(森)
	8	与薬の基礎知識④ 静脈注射 輸血管理	講義		川原(森)
	9	採血(静脈血採血)(使用した器具の感染防止の 取扱い)(感染性廃棄物の取扱い)(無菌操作)(針刺し 事故の防止・事故後の対応)	講義 演習		川原(森)
	10	筋肉注射(筋肉注射)(使用した器具の感染防止の 取扱い)(感染性廃棄物の取扱い)(無菌操作)(針刺し 事故の防止・事故後の対応)	講義 演習		川原(森)
	11	皮膚・創傷を管理する技術 (創洗浄、創保護) 創傷管理の基礎知識、創傷処置、褥瘡予防	講義 演習		川原(森)
	12	呼吸・循環を整える技術① (口腔内・鼻腔内吸引) (ネブライザーを用いた気道内加湿) 酸素吸入療法の基礎知識と実際 吸引の基礎知識と実際	講義 演習		手島(森)
	13	呼吸・循環を整える技術② (酸素吸入療法の実施)(体位ドレナージ) 呼吸を楽にする援助	講義 演習		手島(森)
	14	救命救急処置技術①(緊急時の応援要請) (一次救命処置BLS)	講義 演習		手島(森)
15	救命救急処置技術②(緊急時の応援要請)(一次 救命処置BLS)(止血法の実施、包帯法)	講義 演習	手島(森)		
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ【メディカ出版】 看護がみえる vol. 1 基礎看護技術 vol. 2 臨床看護技術【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	系統別看護学講座 医療安全【医学書院】 系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験・小レポート)				
学生へのメッセージ	基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください また、演習前には課題の提示をします				

分野: 専門分野 科目: 暮らしと健康 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】						
担当教員	近藤 加奈子		年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人の生活を中心とした環境の変化を捉え、環境と生活との相互作用から、環境が生活や健康に与える影響とそれを支える人々と社会資源について学ぶ。					
到達目標	1. 暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響を理解する。 2. 地域・在宅看護論の対象と活動の基盤となる概念を理解する。 3. 人々の暮らしを支える社会資源について理解する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	地域・在宅看護論の対象	講義 演習		近藤	
	2	暮らすということ①	講義 演習		近藤	
	3	暮らすということ②	講義 演習		近藤	
	4	地域の生活環境が健康に与える影響	講義		近藤	
	5	支え合って生きるとは	講義 演習		近藤	
	6	人々と社会資源の関わり①	講義 演習		近藤	
	7	人々と社会資源の関わり②	発表		近藤	
	8	人々と社会資源の関わり③	発表		近藤	
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 国民衛生の動向【厚生統計協会】 看護師教育のための地域看護概説【ヌーヴェルヒロカワ】					
評価方法	終講試験(課題レポート)					
学生へのメッセージ						

分野: 専門分野 科目: 地域を視る 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】					
担当教員	近藤 加奈子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	発達段階レベル、疾患や障害を持って地域で暮らす人の視点から特定の地域をアセスメントする。公衆衛生学的視点から地域特性と人々の生活及び健康について探求する。				
到達目標	1. 人と生活にかかわる環境の変化について説明できる。 2. 生活環境が人の健康に与える影響と対策について具体的な例を用いて説明できる。 3. 特定の地域を地区踏査し、公衆衛生学的視点から地域特性と人々の健康について考察できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	健康な暮らしと環境	講義	「暮らしと健康」で学んだことを復習してくる	近藤
	2	健康な環境のアセスメント① 地区踏査の演習の説明・準備	演習		近藤
	3	健康な環境のアセスメント② 地区踏査	演習		近藤
	4	健康と環境のアセスメント③ 地区踏査	演習		近藤
	5	健康な環境のアセスメント④ 地区踏査	演習		近藤
	6	健康な環境のアセスメント⑤ 分析	GW		近藤
	7	健康な環境のアセスメント⑥ 分析	GW		近藤
	8	健康な環境のアセスメント⑦ 発表 まとめ	発表		近藤
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 看護師教育のための地域看護概説【ニューヴェルヒロカワ】 国民衛生の動向 財団法人 厚生統計協会				
評価方法	終講試験(発表・レポート)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野 科目: 地域保健活動 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】					
担当教員	近藤 加奈子	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/>
授業の概要	地域包括ケアシステムにおける自助・互助の促進に向けて地域で生活する人々の健康の保持増進・疾病予防に必要な保健活動を学ぶ。				
到達目標	1. 健康寿命延伸に向けて地域で生活する人々の健康課題を理解する。 2. 健康保持増進・疾病予防の保健活動の具体的な方法を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	地域保健活動とは①	講義 演習		近藤
	2	地域保健活動とは②	講義 GW		近藤
	3	健康講座① 演習の説明・準備	講義 演習		近藤
	4	健康講座② 情報収集・媒体作成	演習		近藤
	5	健康講座③ 情報収集・媒体作成	演習		近藤
	6	健康講座④ 発表準備	演習		近藤
	7	健康講座⑤ 各グループ発表	演習		近藤
	8	健康講座⑥ 各グループ発表 まとめ	演習		近藤
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 看護師教育のための地域看護概説【ヌーヴェルヒロカワ】 国民衛生の動向【厚生統計協会】				
評価方法	終講試験(発表・レポート)				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野 科目:地域・在宅看護概論 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】						
担当教員	本村 和久 池田 敦子		年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	地域・在宅看護論の対象及び家族の特徴を知り、療養を支える制度及び社会資源について学ぶ。地域包括ケアシステム等の構築の推進における地域・在宅看護の役割を学ぶ。					
到達目標	1. 地域・在宅看護論の対象及びその家族の特徴から在宅看護の目的を理解する。 2. 在宅療養を支える制度・社会資源を理解する。 3. 地域包括ケアシステム等の推進における多職種との連携・協働について理解する。 4. 在宅療養を支える訪問看護の役割と機能について理解する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	在宅医療の現状と課題	講義 演習		本村	
	2	在宅看護の概念① 在宅看護の基盤・背景	講義 演習		池田	
	3	地域・在宅看護の概念② 在宅看護を展開するための基本理念 在宅看護における倫理	講義 演習		池田	
	4	地域・在宅看護の対象者	講義		池田	
	5	地域療養を支える制度① 社会資源の活用 医療保険制度	講義		池田	
	6	地域療養を支える制度② 介護保険制度	講義 演習		池田	
	7	地域療養を支える制度③ 介護保険サービスの種類と特徴	講義		池田	
	8	地域療養を支える制度④ 生活保護制度 障害者に関連する法律 難病法 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源 在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源、高齢者施策	演習		池田	
	9	在宅療養を支える訪問看護① 訪問看護制度 在宅ケアを支える訪問看護の特徴	講義		池田	
	10	在宅療養を支える訪問看護② 訪問看護サービスの展開、記録物	講義		池田	
	11	地域包括ケアシステムにおける在宅看護① 地域包括ケアシステム 療養の場の移行に伴う看護	講義		池田	
	12	地域包括ケアシステムにおける在宅看護② 地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携	講義 演習		池田	
	13	地域包括ケアシステムにおける在宅看護③ 在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント	講義 演習		池田	
	14	在宅看護における安全と健康危機管理① 在宅看護における危機管理 日常生活における安全管理	講義 演習		池田	
15	在宅看護における安全と健康危機管理② 災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理	講義 演習		池田		
使用テキスト等	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 在宅療養を支えるケア【メディカ出版】 看護がみえるvol.5 対象の理解 1					
主たる参考図書・文献	地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論②【医学書院】 国民衛生の動向 最新版 財団法人【厚生統計協会】 事例で考える 訪問看護の倫理【日本看護協会出版会】					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)					
学生へのメッセージ						

分野: 専門分野		科目: 地域・在宅看護方法論Ⅰ (在宅療養を支える技術)		【1単位:	30時間	授業回数:	15回】
担当教員	結城 千賀 近藤 加奈子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習	
授業の概要	療養者と家族の生活を支える日常生活援助の特徴とその方法を学ぶ。						
到達目標	1. 在宅看護活動における好ましいコミュニケーション方法を修得する。 2. 対象者の障害に応じた援助方法を修得する。 3. 在宅ケアにおける安全を理解する。						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	在宅で看護を展開するにあたって	講義		近藤		
	2	初回訪問の面接技術	演習		近藤		
	3	在宅で求められる看護技術援助① 呼吸に関する在宅看護技術	講義	基礎看護学の学 修内容を援助項 目ごとにまとめて 復習しておく	近藤		
	4	在宅で求められる看護技術援助② 食生活・嚥下に関する在宅看護技術	講義		近藤		
	5	在宅で求められる看護技術援助③ 排泄・移動に関する在宅看護技術	講義		近藤		
	6	在宅で求められる看護技術援助④ 清潔に関する在宅看護技術	講義		近藤		
	7	継続訪問の在宅看護演習① 演習;計画作成・準備	講義 演習		近藤		
	8	継続訪問の在宅看護演習② ロールプレイ(日常生活援助)	講義 演習		近藤		
	9	継続訪問の在宅看護演習③ ロールプレイ(日常生活援助)	講義 演習		近藤		
	10	在宅医療を支える医療機器	講義 演習		近藤		
	11	在宅における医療管理を要する人の看護① 褥瘡、膀胱留置カテーテル、ストーマ	講義		結城		
	12	在宅における医療管理を要する人の看護② 経管栄養法、在宅中心静脈栄養法	講義		結城		
	13	在宅における医療管理を要する人の看護③ 非侵襲的陽圧換気療法、在宅酸素療法(HOT)	講義		結城		
	14	在宅における医療管理を要する人の看護④ 在宅人工呼吸療法と排痰法、	講義		結城		
15	在宅における医療管理を要する人の看護⑤ 外来がん治療の支援、疼痛緩和	講義		結城			
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術【メディカ出版】						
主たる参考図書・文献	国民衛生の動向 最新版 財団法人【厚生統計協会】						
評価方法	終講試験(筆記試験・課題レポート)						
学生へのメッセージ							

分野:専門分野 科目: 地域・在宅看護方法論Ⅱ (状態別看護) 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	結城 千賀 池田 敦子	年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	在宅看護介入時期別及び状態別の看護の特徴を知り、訪問看護の実践に向けた看護展開方法を学ぶ。				
到達目標	1. 在宅看護介入時期別の在宅看護の特徴が理解できる。 2. 疾病や障害を持つ療養者と家族の生活を踏まえたニーズを理解し、看護実践方法を学ぶ。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	地域・在宅療養者の看護① 在宅看護介入時期別の特徴	講義 演習		池田
	2	地域・在宅療養者の看護② 難病療養者の看護	講義 DVD		結城
	3	地域・在宅療養者の看護③ 小児の看護	講義 DVD		結城
	4	地域・在宅療養者の看護④ 精神疾患の看護	講義		結城
	5	地域・在宅療養者の看護⑤ 認知症高齢者の看護	講義		結城
	6	地域・在宅療養者の看護⑥ 終末期の看護	講義 DVD		結城
	7	地域・在宅看護過程の特徴	講義		池田
	8	地域・在宅看護のアセスメント演習	演習		池田
	9	在宅看護の事例展開① 演習内容、事例概要説明 疾患の病態生理	演習		池田
	10	在宅看護の事例展開② アセスメント(身体状況と日常生活との関係)	演習		池田
	11	在宅看護の事例展開③ アセスメント(心身状況、社会状況等)	演習		池田
	12	在宅看護の事例展開④ アセスメント(制度等)	演習		池田
	13	在宅看護の事例展開⑤ 全体像	演習		池田
	14	在宅看護の事例展開⑥ 看護課題の整理及び看護計画作成	演習		池田
15	在宅看護の事例展開⑦ 実践の振り返り及びまとめ	演習 講義		池田	
使用テキスト等	在宅看護論①地域療養を支えるケア【メディカ出版】 在宅看護論②在宅療養を支える技術【メディカ出版】 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 看護にみえるvol.5 対象の理解Ⅰ				
主たる参考図書・文献	地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論②【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野 科目: 成人看護学概論 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】						
担当教員	大久保 純子		年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	現代社会を生きる成人期の特徴と健康問題を理解し、健康生活をはぐくむ看護援助を学ぶ。成人期にある人とその家族を看護するうえで、必要な概念、理論を学修する。					
到達目標	1. 成人期にある対象の特徴を理解できる。 2. 成人期にある対象の健康レベルに応じた看護がわかる。 3. 成人期にある対象に有用な理論や概念が理解できる。 4. 成人期における現代社会の背景と生活状況から健康問題を理解し、健康の保持・増進のために必要な知識を理解する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	成人期にある人の理解①	講義		大久保	
	2	成人期にある人の理解②	講義		大久保	
	3	成人の生活を理解する視点と方法①	講義		大久保	
	4	成人の生活を理解する視点と方法②	講義		大久保	
	5	成人期にみられる健康障害①	GW		大久保	
	6	成人期にみられる健康障害②	発表		大久保	
	7	成人期にみられる健康障害③	発表		大久保	
	8	成人期にみられる健康障害④	講義		大久保	
	9	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴① ヘルスプロモーション	講義		大久保	
	10	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴② 急性期	講義		大久保	
	11	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴③ 慢性期	講義		大久保	
	12	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴④ 回復期	講義		大久保	
	13	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴⑤ 終末期	講義		大久保	
	14	健康観の多様性と看護	講義		大久保	
15	健康教育	講義 GW		大久保		
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論 【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論 【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 【医学書院】 国民衛生の動向 厚生統計協会					
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)					
学生へのメッセージ	予習、復習をして講義に臨みましょう					

分野: 専門分野						科目: 成人看護学方法論 I (慢性期看護)		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】	
担当教員	野口 由紀子 萬野 恵美子 長主 貴大 大久保 純子		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習		
授業の概要	慢性・長期的な健康障害を持つ患者の特徴と看護を学ぶ。								
到達目標	1. 慢性的に経過する症状に応じた看護の特徴が理解できる。 2. 慢性・長期的な健康障害を持つ患者の検査・治療に必要な看護が理解できる。								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	内分泌機能障害のある患者の看護①	講義		野口				
	2	内分泌機能障害のある患者の看護② 血糖測定、自己注射指導	講義		野口				
	3	代謝障害のある患者の看護	講義		野口				
	4	栄養代謝機能障害のある患者の看護	講義		萬野				
	5	消化・吸収機能障害のある患者の看護①	講義		萬野				
	6	消化・吸収機能障害のある患者の看護② ストーマケア	講義		萬野				
	7	腎機能障害のある患者の看護 排尿機能障害のある患者の看護	講義		長主				
	8	身体防御機能の障害のある患者の看護① (皮膚、アレルギー、膠原病、感染症)	講義		長主				
	9	身体防御機能の障害のある患者の看護② (皮膚、アレルギー、膠原病、感染症)	講義		長主				
	10	慢性期にある患者の看護過程の展開①	講義 演習		大久保				
	11	慢性期にある患者の看護過程の展開②	講義 演習		大久保				
	12	慢性期にある患者の看護過程の展開③	講義 演習		大久保				
	13	慢性期にある患者の看護過程の展開④	講義 演習		大久保				
	14	慢性期にある患者の看護過程の展開⑤	講義 演習		大久保				
15	慢性期にある患者の看護過程の展開⑥	講義 演習		大久保					
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑧ 腎/泌尿器/内分泌・代謝【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護③ 消化器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護④ 血液/アレルギー・膠原病/感染症【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑥ 眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント【メディカ出版】 看護過程に沿った対症看護 第5版【Gakken】								
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑥ 内部環境調整機能障害/性・生殖機能障害【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護③ 造血機能障害/免疫機能障害【メディカ出版】								
評価方法	終講試験(筆記試験)、看護過程の課題提出								
学生へのメッセージ	予習、復習をして講義に臨みましょう								

分野: 専門分野		科目: 成人看護学方法論Ⅱ (急性期看護)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	宮地 千加子 本川 満 森 さつき 岩本 雅俊 大久保 純子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	健康の危機状況にある患者の特徴と看護を学ぶ。				
到達目標	1. 健康の危機状況にある症状に応じた看護の特徴が理解できる。 2. 健康の危機状況にある患者の検査・治療に必要な看護が理解できる。 3. 急性期にある患者や家族の倫理について考えることができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	呼吸機能障害のある患者の看護①	講義		宮地
	2	呼吸機能障害のある患者の看護②	講義		宮地
	3	呼吸機能障害のある患者の看護③	講義		宮地
	4	循環機能障害のある患者の看護①	講義		本川
	5	循環機能障害のある患者の看護②	講義		本川
	6	循環機能障害のある患者の看護③	講義		本川
	7	性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護	講義		森
	8	がん患者への看護①	講義		森
	9	がん患者への看護②	講義		森
	10	造血機能障害のある患者の看護	講義		大久保
	11	救急看護 クリティカルケア①	講義		岩本
	12	救急看護 クリティカルケア②	講義		岩本
	13	救急看護 クリティカルケア③ 医療機器の操作・管理	講義 演習		岩本
	14	集中治療を受ける患者の看護	講義		岩本
15	急性期看護と倫理	講義		大久保	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護① 呼吸器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護② 循環器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑨ 女性生殖器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 血液/アレルギー・膠原病/感染症【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得【メディカ出版】 看護過程に沿った対症看護 第5版【Gakken】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護① 呼吸機能障害/循環機能障害【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑥ 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護③ 造血機能障害/免疫機能障害【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論【メディカ出版】				
評価方法	終講試験(筆記試験)、課題提出				
学生へのメッセージ	予習、復習をして講義に臨みましょう				

分野: 専門分野						科目: 成人看護学方法論Ⅲ (回復期看護)		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回 】	
担当教員	高倉 望 林田 晶子 成富 耕治 樋口 美樹		年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義	演習				
授業の概要	回復期の対象を理解し、障害の程度に応じた援助に必要な知識、技術を学ぶ。 回復期の対象と家族の生活行動の再獲得、社会復帰を目指した看護を学ぶ。										
到達目標	1. リハビリテーションの意味と看護師の役割について理解する。 2. 回復過程にある対象を理解し、社会復帰に必要な看護を理解する。										
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当						
	1	脳・神経機能障害のある患者の看護①	講義		高倉						
	2	脳・神経機能障害のある患者の看護②	講義		高倉						
	3	脳・神経機能障害のある患者の看護③	講義		高倉						
	4	運動機能障害のある患者の看護①	講義		林田						
	5	運動機能障害のある患者の看護②	講義		林田						
	6	運動機能障害のある患者の看護③	講義		林田						
	7	リハビリテーション看護①	講義		成富						
	8	リハビリテーション看護②	講義		成富						
	9	リハビリテーション看護③ 自動・他動運動の援助	講義 演習		成富						
	10	感覚機能障害のある患者の看護	講義		樋口						
	11	回復期にある患者の看護過程展開①	講義 演習		樋口						
	12	回復期にある患者の看護過程展開②	講義 演習		樋口						
	13	回復期にある患者の看護過程展開③	講義 演習		樋口						
	14	回復期にある患者の看護過程展開④	講義 演習		樋口						
15	回復期にある患者の看護過程展開⑤	講義 演習		樋口							
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑤ 脳・神経【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑦ 運動器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑤ リハビリテーション看護【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護④ 脳・神経機能障害/感覚機能障害【メディカ出版】 看護過程に沿った対症看護 第5版 【Gakken】										
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護④ 脳・神経機能障害/感覚機能障害【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑤ 運動機能障害【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑥ 眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚【メディカ出版】										
評価方法	終講試験(筆記試験)、看護過程の課題提出										
学生へのメッセージ	予習、復習をして講義に臨みましょう										

分野: 専門分野		科目: 老年看護学概論		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回 】	
担当教員	福田 早苗 西 恵美子 高園 真理子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習		
授業の概要	老年期の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな特徴を理解し、医療・保健・介護・福祉の現状、高齢者保健医療福祉対策、高齢社会における課題と対策等を学修する。						
到達目標	1. 老年期の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな特徴を説明することができる。 2. 高齢者を取り巻く社会の動向を理解し保健医療福祉制度や施策を理解する。 3. 生活を支えるという視点で老年看護の役割を理解する。						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	高齢者とは	講義	高齢者と会話をして参加する	福田 (高園)		
	2	高齢者の特徴と理解 高齢者にとっての健康	講義	テキストを読む 1 高齢者の理解	福田 (高園)		
	3	高齢者とQOL	講義		福田(西)		
	4	高齢者の加齢に伴う変化	講義		福田(西)		
	5	高齢者をとりまく社会① 高齢者の生活と家族、生活する場	講義	テキストを読む 2 高齢者をとりまく社会	福田(西)		
	6	高齢者をとりまく社会② 高齢者を支える制度、社会資源	講義		福田(西)		
	7	地域包括ケアシステムと多様な生活の場 における看護①	講義	テキストを読む 3 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護	福田(西)		
	8	地域包括ケアシステムと多様な生活の場 における看護②	講義		福田(西)		
	9	高齢者看護の基本① 高齢者看護の特性 高齢者看護にかかわる諸理論	講義	テキストを読む 4 高齢者看護の基本	福田(西)		
	10	高齢者看護の基本② 高齢者看護における倫理	講義		福田(西)		
	11	高齢者看護の基本③ 高齢者と医療安全 高齢者と災害看護	講義		福田(西)		
	12	高齢者のヘルスプロモーション	GW 演習	5 高齢者のヘルスプロモーション	福田(西)		
	13	高齢者疑似体験 ①	GW 演習	7. 高齢者理解のための実習	福田(西)		
	14	高齢者疑似体験 ②	GW 演習		福田(西)		
15	「老いる」ということ	まとめ 発表		福田(西)			
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害 【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ老年看護学② 高齢者看護の実践 【メディカ出版】						
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護学 【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 【医学書院】 国民衛生の動向 財団法人【厚生統計協会】						
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート・授業態度)						
学生へのメッセージ	予習・復習をしましょう。						

分野: 専門分野 科目: 老年看護学方法論Ⅰ 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】						
(ADLに障害を有する高齢者の看護)						
担当教員	真田 洋子		年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	高齢者の生活や家族を理解したうえで、生活を営むために不可欠な生活行動に着眼し、高齢者のもてる力を活用できるような老年看護に必要な技術を学修する。					
到達目標	ADLに障害を有する高齢者が営む生活状況を理解し、対象のもてる力を活用できる援助・関わりを理解することができる。					
	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
授業計画	1	高齢者の理解 老年症候群・フレイル・サルコペニア	講義	高齢者の健康と障害 加齢に伴う変化1-5 を読んでくる	真田	
	2	高齢者看護の基本 フィジカルアセスメント	講義	高齢者の健康と障害 高齢者看護の基本 4-4	真田	
	3	高齢者の生活を支える看護① コミュニケーション	講義	高齢者の健康と障害 生活を支える看護 6-1	真田	
	4	高齢者の生活を支える看護② 食生活	講義	高齢者看護の実際 高齢者の生活を支える 看護1-1	真田	
	5	高齢者の生活を支える看護③ 嚥下・食事介助	演習 実習室	高齢者看護の実際 高齢者の生活を支える 看護1-1	真田	
	6	高齢者の生活を支える看護④ 排泄	講義	高齢者看護の実際 高齢者の生活を支える 看護1-2	真田	
	7	高齢者の生活を支える看護⑤ 清潔・衣生活	講義	高齢者看護の実際 高齢者の生活を支える 看護1-3	真田	
	8	高齢者の生活を支える看護⑥ 排泄・生活・衣生活の援助	演習 実習室	高齢者看護の実際 高齢者の生活を支える 看護1-2 1-3	真田	
	9	高齢者の生活を支える看護⑦ 活動と休息	講義	高齢者看護の実際 高齢者の生活を支える 看護1-4	真田	
	10	高齢者の生活を支える看護⑧ 歩行・移動 転倒予防	講義	高齢者看護の実際 高齢者の生活を支える 看護1-1	真田	
	11	高齢者の生活を支える看護⑨ 呼吸・循環機能障害	講義	高齢者看護の実際 高齢者の生活を支える 看護1-6	真田	
	12	介護施設における看護① ICFとは	講義 演習	リハビリテーション 看護	真田	
	13	介護施設における看護② ICFに基づくアセスメント	講義 演習	リハビリテーション 看護	真田	
	14	介護施設における看護③ ICFに基づくアセスメント	講義 演習	リハビリテーション 看護	真田	
	15	介護施設における看護④ ICFに基づいたADL支援	講義 演習	リハビリテーション 看護	真田	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ老年看護学② 高齢者看護の実際【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ成人看護学⑤ リハビリテーション看護【メディカ出版】 看護が見える看護技術Vol.①【メディックメディア】					
主たる参考図書・文献	看護根拠と事故防止から見た老年看護技術【医学書院】					
評価方法	終講試験(レポート・筆記試験)					
学生へのメッセージ	老年期の患者さんにとって何をどこまでどのように援助する必要があるのか考えましょう					

分野: 専門分野 科目: 老年看護学方法論Ⅱ 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】						
(疾病論 認知症を有する高齢者の看護)						
担当教員	深山 加寿代 福田 早苗		年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	高齢者の特性や患者の個性、疾病の特性を理解し、心理・精神面機能面への影響を考慮しながら、高齢者に多い疾患の事例で看護過程を展開し、援助方法を考え、看護実践へつなげる。					
到達目標	1. 高齢者の健康障害・疾患の特徴と援助方法、看護の方法を理解する。 2. 認知症患者を理解し、ケアの意味と技法について説明できる。 3. 老年看護における看護過程を展開することができる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	高齢者によくみられる疾患①	講義 GW	テキストを読む	深山	
	2	高齢者によくみられる疾患②	講義 GW	テキストを読む	深山	
	3	高齢者の生活を支える看護①	講義 GW	テキストを読む	深山	
	4	高齢者の生活を支える看護②	講義 GW	テキストを読む	深山	
	5	高齢者の生活を支える看護③	講義 GW	テキストを読む	深山	
	6	認知症・うつ病・せん妄の看護①	講義 GW	テキストを読む	深山	
	7	認知症・うつ病・せん妄の看護②	講義 GW	テキストを読む	深山	
	8	認知症・うつ病・せん妄の看護③	講義 GW	テキストを読む	深山	
	9	終末期の看護①	講義 GW	テキストを読む	深山	
	10	終末期の看護②	講義 GW	テキストを読む	深山	
	11	老年看護学における看護過程の展開① 情報収集	講義 GW	基礎看護学実習 看護過程の復習	福田	
	12	老年看護学における看護過程の展開② アセスメント	講義 GW	基礎看護学実習 看護過程の復習	福田	
	13	老年看護学における看護過程の展開③ 関連図	講義 GW	基礎看護学実習 看護過程の復習	福田	
	14	老年看護学における看護過程の展開④ 看護計画	講義 GW	基礎看護学実習 看護過程の復習	福田	
	15	老年看護学における看護過程の展開⑤ 発表	講義 GW	基礎看護学実習 看護過程の復習	福田	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害 【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ老年看護学② 高齢者看護の実践 【メディカ出版】 看護技術 プラクティス 【学研】					
主たる参考図書・文献						
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)					
学生へのメッセージ						

分野:専門分野 科目:小児看護学概論 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	西 恵美子 服部 道枝	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	現在の子どもと家族の概況や倫理的視点から小児看護の役割と課題を学ぶ。小児の成長・発達の基本的な知識を学ぶ。現代の子どもを取り巻く社会環境を学ぶ。				
到達目標	1. 小児看護の特徴について理解する 2. 小児の成長・発達について理解する 3. 小児と小児を取り巻く環境について理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	小児とは(1) 小児を取り巻く環境について考える	講義 GW	天神会キッズに遊びに行く	服部
	2	小児とは(2) 小児を取り巻く環境について	講義 GW		服部
	3	小児看護で用いられる概念(1) 小児看護の変遷と子どもの権利	講義 GW		西
	4	小児看護で用いられる概念(2) 子どもの権利について考える	講義 GW		西
	5	子どもの成長・発達と看護(1) 新生児・乳児期の情緒発達と発達課題 新生児・乳児期の成長・発達と看護① 身体的発達と機能的発達	講義 GW		服部
	6	子どもの成長・発達と看護(2) 新生児期・乳児期の成長・発達と看護② 心理・社会的発達	講義 GW		服部
	7	小児の栄養と発育評価	講義		西
	8	子どもの成長・発達と看護(3) 幼児期の情緒的発達と発達課題 幼児期の成長・発達と看護① 身体的発達と機能的発達	講義 GW		服部
	9	子どもの成長・発達と看護(4) 幼児期の成長・発達と看護② 心理・社会的発達	講義 GW		服部
	10	子どもの成長・発達と看護(5) 学童期の情緒的発達と発達課題 学童期の成長・発達と看護① 身体的発達と機能的発達	講義 GW		服部
	11	子どもの成長・発達と看護(6) 学童期の成長・発達と看護② 心理・社会的発達	講義 GW		服部
	12	子どもの成長・発達と看護(7) 思春期の情緒的発達と発達課題 思春期の成長・発達と看護① 身体的発達と機能的発達	講義 GW		服部
	13	子どもの成長・発達と看護(8) 思春期の成長・発達と看護② 心理社会的発達	講義 GW		服部
	14	子どもと家族を取り巻く社会(1) 予防接種と学校保健	講義 GW		西
15	子どもと家族を取り巻く社会(2) 対象とその家族の包括的支援	講義 GW		西	
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 I【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	ナーシンググラフィカ 小児看護学③ 小児の疾病と看護【メディカ出版】 国民衛生の動向				
評価方法	受講態度、グループワーク参加、小テスト、終講試験				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野		科目: 小児看護学方法論 I (疾病論)		【 1単位: 30時間	授業回数: 15回	】
担当教員	靄 知光 横田 吾郎	年次・ 開講時期	2年通年	授業形態	講義	演習
授業の概要	小児の疾患を身体系統別または病態別に構成し、各疾患の病態・症状・診断・治療と看護を学ぶ。					
到達目標	1. 小児の各疾患の病態・症状・診断・治療と看護について理解する。 2. 小児保健医療の課題について考えることができる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	先天異常 代謝疾患 内分泌疾患	講義		横田	
	2	アレルギー疾患 呼吸器疾患	講義		横田	
	3	免疫・リウマチ性疾患 循環器疾患	講義		横田	
	4	腎・泌尿器疾患 血液疾患	講義		横田	
	5	神経系疾患 神経発達症・心身医学的問題	講義		横田	
	6	眼疾患 耳鼻咽喉疾患 皮膚疾患	講義		横田	
	7	感染症	講義		横田	
	8	健康問題をもつ子どもと家族の看護	演習 GW		横田	
	9	小児における栄養管理の基礎	講義		靄	
	10	[外科的治療・処置が必要な疾患] 麻酔が小児に及ぼす影響 先天異常 口唇口蓋裂 消化器疾患	講義		靄	
	11	[外科的治療・処置が必要な疾患] 循環器疾患 神経系疾患	講義		靄	
	12	[外科的治療・処置が必要な疾患] 生殖器疾患 腫瘍性疾患	講義		靄	
	13	[外科的治療・処置が必要な疾患] 運動器疾患 耳鼻咽喉疾患	講義		靄	
	14	外傷・救急と看護	講義		靄	
15	地域における医療的ケア児と家族の看護 栄養管理 胃瘻 呼吸管理 気管切開 喉頭気管分離術 ポジショニング	講義		靄		
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 I【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ 小児看護学③ 小児の疾病と看護【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献	ナーシンググラフィカ 健康の回復と看護①～⑦【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ 疾患と看護①～⑧【メディカ出版】 看護がみえるVol.5 対象の理解 I メディックメディア					
評価方法	終講試験(筆記試験)、授業参加態度など					
学生へのメッセージ						

分野: 専門分野 科目: 小児看護学方法論Ⅱ (健康問題を有する小児の看護) 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	服部 道枝	年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	病気・障害を持つ子どもと家族の特徴と看護の役割を理解し、健康問題に応じた援助方法を学ぶ				
学生の到達目標	1. 子どもの最良の健康状態を維持・増進するための援助を理解する 2. 小児看護に特有な看護技術について修得し、状況に応じた援助方法がわかる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	健康障害をもつ子どもと家族への看護① 健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護 安心・安全な環境を調整する技術	講義 GW		服部
	2	健康障害をもつ子どもと家族への看護② 健康障害に伴う子どものストレスと対処 援助関係を形成する技術	講義 GW		服部
	3	検査・処置を受ける子どもと家族への看護	講義 GW		服部
	4	手術を受ける子どもと家族への看護	講義 GW		服部
	5	子どものプレパレーション	発表		服部
	6	慢性期にある子どもと家族への看護	講義 GW		服部
	7	急性期にある子どもと家族の看護① 発熱時のアセスメントと看護 脱水時のアセスメントと看護 けいれん時のアセスメントと看護	講義 GW		服部
	8	急性期にある子どもと家族の看護② 呼吸困難時のアセスメントと看護 嘔吐・下痢時のアセスメントと看護 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 急性期にある子どもの家族への援助	講義 GW		服部
	9	終末期にある子どもと家族への看護	講義 GW		服部
	10	外来における子どもと家族への看護 在宅における子どもと家族への看護	講義 GW		服部
	11	災害を受けた子どもと家族への看護 被虐待児(虐待を受けている可能性のある子ども)と家族への看護	講義 GW		服部
	12	小児に必要な看護援助技術	演習		服部
	13	健康障害をもつ子ども・家族への看護過程の展開① 小児におけるアセスメントの視点	演習 GW		服部
	14	健康障害をもつ子ども・家族への看護過程の展開② 小児におけるアセスメントの考え方	演習 GW		服部
15	健康障害をもつ子ども・家族への看護過程の展開③ 小児に必要な援助の考え方	演習 GW		服部	
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護Ⅰ【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	ナーシンググラフィカ 小児看護学③ 小児の疾病と看護【メディカ出版】 系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論【医学書院】 発達段階からみた小児看護過程【医学書院】 看護がみえるvol. 5 対象の理解Ⅰ				
評価方法	受講態度、グループワーク参加、小テスト、終講試験				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野		科目:母性看護学概論		【1単位:30時間		授業回数:15回】	
担当教員	林 桂子	年次・ 開講時期	2年前期	授業 形態	講義	演習	
授業の概要	母性の概念と女性のライフサイクルにおける健康課題や健康の保持・増進・疾病予防に必要な看護について学ぶ。						
到達目標	1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を理解し、ライフステージ各期における発達段階や健康課題を捉え看護につなぐことができる。 2. セクシュアリティは、その人がその人らしく健康に生きるための概念であることが理解できる。 3. 女性を取り巻く環境を理解し、母子保健施策の観点から母性看護の現状を理解することができる。						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前 学習等	担当		
	1	母性看護の基盤となる概念 母性看護実践を支える概念	講義		林		
	2	リプロダクティブヘルスに関する概念 ・リプロダクティブヘルス/ライツ ・セクシュアリティとジェンダー ・ヒトの発生・性分化のメカニズム・性分化疾患 ・性意識の発達・性同一障害	講義		林		
	3	リプロダクティブヘルスに関する動向	講義		林		
	4	リプロダクティブヘルスに関する倫理① ・母性看護実践における倫理的・法的・社会的課題 ・人工妊娠中絶に関する状況、倫理的・法的・社会的課題	講義		林		
	5	リプロダクティブヘルスに関する倫理② ・出生前診断に関する現況、倫理的・法的・社会的課題 ・生殖補助医療に関する現況、倫理的・法的・社会的課題	講義		林		
	6	リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援① ・子どもと女性の保護に関する法律 ・女性の就労に関する法律	講義		林		
	7	リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援② ・子育て支援に関する制度・施策 ・暴力・虐待の防止に関する法律と支援	講義		林		
	8	生殖に関する生理 ・女性生殖器・男性生殖器 ・第二性徴・性周期・妊娠のメカニズム ・性行動・性反応	講義		林		
	9	生殖における健康問題と看護 ・月経異常 ・不妊症 ・性感染症 ・女性生殖器の腫瘍	講義		林		
	10	加齢とホルモンの変化 ・更年期の女性 ・老年期女性	講義		林		
	11	女性のライフステージ各期における看護	講義 演習		林		
	12	女性のライフステージ各期における看護	講義 演習		林		
	13	倫理的問題の実際	講義 演習		林		
	14	倫理的問題の実際	講義 演習		林		
15	まとめ	講義		林			
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 母性看護実践の基本【メディカ出版】						
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論【医学書院】						
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)						
学生へのメッセージ	グループワークや演習を行いながら講義を進めていきます						

分野: 専門分野 科目: 母性看護学方法論Ⅰ (マタニティサイクルにおける看護) 【 1単位: 30時間 授業回数: 30時間 】						
担当教員	池田 律子 林桂子		年次・開講時期	2年後期	授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習
授業の概要	マタニティサイクルにある対象の特性および家族を理解し、援助方法を学ぶ。					
到達目標	1. 妊娠、分娩、産褥期の身体的、心理・社会的特徴を理解できる。 2. 妊娠、分娩、産褥期の対象に必要な看護と家族への看護を理解できる。 3. 妊娠、分娩、産褥期に必要な看護技術を修得する。 4. 新生児期の特徴を理解し、必要な看護援助を修得する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習	担当	
	1	妊婦の看護① 妊婦の生理 妊婦と胎児のアセスメント	講義		林	
	2	妊婦の看護② 出産を控えた妊婦と家族の心理社会的変化と看護	講義 演習		林	
	3	産婦の看護① 分娩期における看護師の役割 分娩の生理	講義		林	
	4	産婦の看護② 産婦のニーズと看護 産婦と家族の心理	講義		林	
	5	褥婦の看護① 産褥期の定義 産褥の生理	講義		林	
	6	褥婦の看護② 褥婦のアセスメントと看護 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護	講義		林	
	7	母乳育児と看護① 母乳育児の歴史と特性 乳房の構造と機能・乳汁分泌メカニズム	講義		池田	
	8	母乳育児と看護② 母親・新生児・授乳の観察と評価 母乳育児支援に役立つ情報提供とケア	講義		池田	
	9	産褥期の異常 乳頭・乳房のトラブル 産後うつ病	講義 演習		林	
	10	帝王切開における看護 帝王切開による影響と術後の全身状態のアセスメント 術後合併症の予防のケア	講義		池田	
	11	新生児の看護① 新生児の生理とアセスメント	講義		林	
	12	新生児の看護② 分娩期のストレス 早産時・低出生体重児	講義		林	
	13	新生児の看護③ 新生児の看護における看護技術	演習		林	
	14	褥婦の看護における看護技術	演習		林	
	15	特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援	講義・演習		池田	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 母性看護技術【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 母性看護の実践【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論・小児臨床看護総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論【医学書院】					
評価方法	終講試験(筆記試験、課題レポート)					
学生へのメッセージ	必ず予習をして臨んでください					

分野: 専門分野 科目: 母性看護学方法論Ⅱ (周産期の医療と看護) 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】						
担当教員	山本 広子 愛洲 紀子 林 桂子		年次・開講時期	2年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	周産期における異常とハイリスク状態の妊婦・産婦・褥婦と新生児の看護を学ぶ。					
到達目標	1. 周産期の異常が理解できる。 2. ハイリスク状態の妊婦・産婦・褥婦と新生児の看護が理解できる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	生殖の役割と機能 ジェンダー	講義		山本	
	2	遺伝と不妊	講義		山本	
	3	妊娠の異常① 妊娠成立総編	講義		山本	
	4	妊娠の異常② 特定妊婦・妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病・妊娠期の感染症	講義		愛洲	
	5	分娩の異常① 産道の異常・微弱陣痛・帝王切開	講義		林	
	6	分娩の異常② 胎位の異常・前置胎盤	講義		林	
	7	産褥の異常 子宮復古不全・発熱・産褥血栓症・精神障害	講義		愛洲	
	8	新生児の異常 新生児仮死・分娩外傷・低出生体重児・高ビリルビン血症・胎児機能不全	講義		林	
	9	ハイリスク妊婦の看護	講義		林	
	10	異常のある産婦の看護	講義		林	
	11	異常分娩時の産婦の看護	講義		林	
	12	産褥の異常と看護 新生児の異常と看護	講義		林	
	13	異常のある妊婦のアセスメント	演習		林	
	14	異常のある産婦のアセスメント	講義		林	
15	異常のある褥婦のアセスメント	演習		林		
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ 母性看護技術【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ 母性看護の実践【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献						
評価方法	終講試験(筆記試験)					
学生へのメッセージ	事前に予習をして臨むこと					

分野:専門分野 科目:精神看護学概論 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】						
担当教員	相川 裕美 松永嘉明 高園 真理子		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	精神の健康概念と精神保健福祉に関する法制度、精神障害を有する対象を理解し、対象との関わり方の基礎を学ぶ。					
到達目標	1. 精神看護の基本的概念を理解する。 2. 精神看護の対象を理解する。 3. 精神障害者に関わる法制度を理解する。 4. 精神看護における治療的なコミュニケーションがわかる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	精神障害についての基本的な考え方 精神障害のとらえ方・精神看護の基本	講義		高園	
	2	人間のこころと行動① こころの理解 ストレスとコーピング	講義 DVD視聴		高園	
	3	人間のこころと行動② こころの防衛機制 こころの危機と危機介入 リカバリー	講義		高園	
	4	人格の発達と情緒体験 人生各期の発達課題 ライフサイクルとメンタルヘルス	講義		高園	
	5	現代社会とこころ 現代社会のこころの問題 災害時のストレスと支援	講義		高園	
	6	「地域で暮らすを支える」① 精神障害者と精神病床の現状 「入院生活」から「地域社会」での生活へ	講義		相川(高園)	
	7	看護の倫理と人権擁護 精神科医療における医療行為の特殊性 と看護師の役割	講義		相川(高園)	
	8	精神保健医療福祉をめぐる法律 精神保健福祉法・障害者総合支援法 精神保健福祉に関連する他の法律・制度	講義		松永	
	9	「地域で暮らす」を支える② 地域生活を支える社会資源の活用	講義		松永	
	10	「地域で暮らす」を支える③ 地域生活(移行)支援の実際(事例)	講義		松永	
	11	家族とその支援 家族を見る視点 精神疾患と家族	講義		相川(高園)	
	12	精神科看護における対象の理解 患者－看護師関係のプロセス プロセスレコードの活用	講義		相川(高園)	
	13	精神科看護におけるケアの方法① 治療的な関わり・関係性の構築 コミュニケーション	講義 演習		相川(高園)	
	14	精神科看護におけるケアの方法② 治療的な関わり・関係性の構築 コミュニケーション	講義 演習		相川(高園)	
15	ストレスマネジメントと精神科における看護師 の役割	講義		相川(高園)		
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 【医学書院】 精神科でのコミュニケーションとケア【ナツメ社】					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)					
学生へのメッセージ						

分野: 専門分野		科目: 精神看護学方法論Ⅰ (疾病論)		1単位 30時間 授業回数: 15回		】
担当教員	児玉英也	年次・ 開講 時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	精神障害の成因・病態生理・診断・検査・治療を学び、対象の理解および精神看護の基盤とする。					
到達目標	1. 精神医療の歴史の変遷と近年における精神医療の動向と課題を理解する。 2. 精神看護の基盤として、精神障害の病態・症状・診断・治療を理解する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	近年の精神疾患の特徴 精神医療の歴史・動向	講義		児玉	
	2	精神症状と精神疾患① 意識・注意・知覚・記憶の障害 知能・思考・感情の障害	講義		児玉	
	3	精神症状と精神疾患② 意思・意欲・自我意識の障害 精神疾患の診断	講義		児玉	
	4	精神症状と精神疾患③ 統合失調症の診断・症状・治療①	講義		児玉	
	5	精神症状と精神疾患④ 統合失調症の診断・症状・治療②	講義		児玉	
	6	精神症状と精神疾患⑤ 抑うつ障害の診断・症状・治療	講義		児玉	
	7	精神症状と精神疾患⑥ 双極性障害の診断・症状・治療	講義		児玉	
	8	精神症状と精神疾患⑦ 認知症の診断・症状・治療①	講義		児玉	
	9	精神症状と精神疾患⑧ 認知症の診断・症状・治療② てんかんの診断・症状・治療	講義		児玉	
	10	精神症状と精神疾患⑨ 睡眠-覚醒障害・物質関連障害および 嗜癖性障害群の診断・症状・治療①	講義		児玉	
	11	精神症状と精神疾患⑩ 物質関連障害および嗜癖症障害群② 不安障害・強迫性障害・ストレス因関連障 害の診断・症状・治療	講義		児玉	
	12	精神症状と精神疾患⑪ 解離性障害・摂食障害の診断・症状・治療 パーソナリティ障害の診断・症状・治療	講義		児玉	
	13	精神症状と精神疾患⑫ 神経発達症の診断・症状・治療	講義		児玉	
	14	医学的検査と心理検査 精神科の治療	講義		児玉	
15	まとめ	講義		児玉		
使用テキスト等	精神看護学① ナーシンググラフィカ 情緒発達と看護の基本 【メディカ出版】 精神看護学② ナーシンググラフィカ 精神障害と看護の実践 【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 【医学書院】					
評価方法	終講試験(筆記試験)					
学生へのメッセージ	どんな看護の現場でも、精神疾患のある方と関わることはあるので、しっかり勉強してください。					

分野: 専門分野 科目: 精神看護学方法論Ⅱ 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】 (精神障害を有する対象の看護)						
担当教員	相川 裕美		年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	対象の精神症状や回復過程に応じた治療的な関係の築き方、セルフケア支援、地域社会における生活支援や看護を学ぶ。					
到達目標	1. 精神症状、回復過程に応じた生活援助を理解する。 2. 対象との治療的な関係の築き方がわかる。 3. 地域における精神看護を理解できる。 4. 事例を用い看護過程の展開ができる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	入院環境と治療的アプローチ① 治療の場としての精神科病棟 治療的環境を整える(安全をまもる)	講義		相川	
	2	入院環境と治療的アプローチ② 治療の場としての精神科病棟 治療的環境を整える(安全をまもる)	講義		相川	
	3	精神科看護におけるケアの方法① 日常生活行動の援助(身体をケアする)	講義		相川	
	4	精神科看護におけるケアの方法② 服薬治療に関わる援助 地域生活を支える看護	講義		相川	
	5	精神障害と看護① 統合失調症	講義		相川	
	6	精神障害と看護② 気分(感情)障害	講義		相川	
	7	精神障害と看護③ 依存症(アルコール・薬物)	講義		相川	
	8	精神障害と看護④ 発達障害 摂食障害	講義		相川	
	9	精神障害と看護⑤ パーソナリティ障害 適応障害	講義		相川	
	10	事例による看護過程の展開① データベース分類	講義		相川	
	11	事例による看護過程の展開② アセスメント	講義		相川	
	12	事例による看護過程の展開③ アセスメント	講義		相川	
	13	事例による看護過程の展開④ アセスメント	講義		相川	
	14	事例による看護過程の展開⑤ 看護問題抽出 看護計画立案	講義		相川	
	15	事例による看護過程の展開⑥ 看護計画立案	講義		相川	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 【メディカ出版】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開【医学書院】 全人的視点にもとづく精神看護過程(第2版)【医歯薬出版株式会社】 精神看護の看護過程【サイオ出版】 エビデンスに基づく精神科ケア関連図【中央法規】					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)					
学生へのメッセージ						

分野: 専門分野 科目: 看護管理 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】					
担当教員	田中 圭子 松家 貴美子 池末直子	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	チーム医療及び多職種との協働・連携、看護師としてのメンバーシップ・リーダーシップを理解する。組織運営に必要な知識を学ぶことで看護のチームや組織・システムをマネジメントできる基礎的能力を養う。				
到達目標	1. 質の高い看護を提供するための看護サービスの管理システムについて説明できる。 2. 保健医療福祉チームにおける看護の責任と役割について説明できる。 3. 目標達成のためのリーダーシップと”ヒト”のマネジメントの重要性について説明できる。				
授業計画	回		授業方法	事前学習等	担当
	1	第1章 人々の生活と看護の関わり 第2章 看護管理の基本となる者 定義 看護管理のプロセス 専門職とは	講義	1年次の看護学 概論の復習	田中
	2	第4章 看護の質向上 看護管理と倫理 医療安全 医療・看護の質と評価	講義		田中
	3	第5章 看護管理に求められる能力 セルフマネジメント リーダーシップ 人とかかるためのスキル	講義		田中
	4	管理に活用される理論 変革理論	講義		田中
	5	第6章 看護職とキャリア 社会化 看護職のキャリア発達	講義		田中
	6	第7章 看護と経営 看護にかかわる医療・福祉制度 第8章 看護活動をとりまく法律・制度 保健医療福祉政策と看護管理 の実際	講義		池末
	7	第3章 看護師の仕事とその管理 マネジメントとは ヒト モノ カネ 情報 トキ 風土 看護提供システム	講義		松家
	8	まとめ	講義		田中
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 看護管理 【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)				
学生へのメッセージ	看護の統合と実践実習へ連携するので、実習目的など理解したうえで授業を受けること				

分野:専門分野 科目:医療安全		【 30時間 授業回数: 15回 】			
担当教員	高園 真理子 坂田 真佐子	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	医療安全の背景や経緯を学び、安全管理の仕組みや医療事故対策の基本を学ぶことで専門職業人としての基盤を創る。 事例を通して事故の発生要因や防止対策について学び、危険を予防し、回避する能力を養う。				
到達目標	1. 事故防止の対策を述べることができる。 2. 事例を通してインシデント・レポートの分析ができる。 3. 組織で取り組む必要性を理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	医療安全の考え方 ①医療安全とは ②医療安全によく使われる言葉	講義		高園
	2	医療事故発生のメカニズム ①ヒューマンエラーと人間の特性 ②情報伝達エラー	講義		高園
	3	事故の分析方法 ①SHELモデル ②4M-4E ③RCA	講義		高園
	4	個人情報の取り扱い KYT(危険予知トレーニング)	講義		高園
	5	医療事故に伴う看護師の法的責任 医療事故後の対応	講義		高園
	6	患者・家族との協同と安全文化の醸成	講義		坂田
	7	看護における医療事故と安全対策 看護業務と自己発生要因 医療事故の種類:その分析と対策① 誤薬 コラム 輸血	講義		坂田
	8	医療事故の種類:その分析と対策② 患者取り違い(誤認) 針刺し	講義		坂田
	9	医療事故の種類:その分析と対策③ 転倒転落 誤認	講義		坂田
	10	医療事故の種類:その分析と対策④ 異物残存 皮膚障害	講義		坂田
	11	医療事故の種類:その分析と対策⑤ 医療機器のトラブル	講義		坂田
	12	医療事故の種類:その分析と対策⑤ チューブ類のトラブル 電子カルテ等情報伝達時のトラブル	講義		坂田
	13	在宅看護における医療事故と安全対策	講義		坂田
	14	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策	講義		坂田
15	医療事故後の対応	講義		坂田	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全【メディカ出版】 医療安全ワークブック【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 医療安全【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野 科目: 災害看護学・国際看護学 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	山崎 宏美 伊達 卓二 藤田 千代子 服部 道枝	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	災害直後から支援できる看護の役割について理解する。 国際社会において、広い視野に基づき看護師として活動できる基本を学ぶ。				
到達目標	1. 災害看護について説明できる。 2. 諸外国の歴史、文化、政治、経済、社会システムを理解する。 3. グローバル化に対応し看護活動できる思考を養う。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって	講義 GW		服部
	2	国際看護学とは	講義 GW		服部
	3	21世紀の看護職として国際的に活動する①	講義 GW		服部
	4	21世紀の看護職として国際的に活動する②	講義 GW		服部
	5	国際協力の課題	講義 GW		服部
	6	災害初期から中長期における看護活動	講義		山崎
	7	配慮を必要とする人への看護	講義		山崎
	8	被災者と支援者の心理の理解と援助	講義		山崎
	9	防災・減災マネジメント	講義		山崎
	10	グローバリゼーション、保健医療分野の国際 協力①	講義		伊達
	11	グローバリゼーション、保健医療分野の国際 協力②	講義		伊達
	12	開発協力と看護	講義		藤田
	13	災害医療の基礎知識①	講義 GW		服部
	14	災害医療の基礎知識②	講義 GW		服部
15	災害看護の基礎知識	講義 演習		服部	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護				
主たる参考図書・文献	大橋一友/岩澤和子 国際化と看護【メディカ出版】 系統看護学講座 災害看護学・国際看護学 【医学書院】 中村哲著「医は国境を越えて」【石風社】 DVD				
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート、講義や演習の参加態度など)				
学生へのメッセージ	国際的な視野を広げよう！！				

分野: 統合分野 科目: 統合看護技術 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】

担当教員	森 真澄 福田 早苗 高園 真理子	年次・ 開講時期	3年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	統合看護技術ではOSCE(客観的臨床能力試験)を行う。3年間で学修した知識・技術を使って、その場で与えられた臨床課題に対して模擬患者へ必要な援助を実施する。3年間の学修の集大成と捉え、より臨床場面に近い状況で判断力・技術力・態度など卒業時に求められる看護実践能力の到達度を再認識する。OSCE後には、模擬患者と評価者(教員)から暖かなフィードバックを受け、さらなる学修の動機付けとする。				
到達目標	1. 対象の状況を判断し、必要な看護援助を考えることができる。 2. 対象に関心を持ち、緊急性や重症度を見極めながら優先順位を判断し実践できる。 3. 実施した看護を振り返り、よりよい看護を行うために自己の課題を見直すことができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	OSCEオリエンテーション OSCEの目的・目標を理解する シナリオ・学習内容の提示 演習計画立案	講義	自己課題シート	森 福田 高園
	2	演習計画に基づきグループ演習① グループリフレクション	演習	シナリオシート 自己評価表	森 福田 高園
	3	演習計画に基づきグループ演習② グループリフレクション	演習	シナリオシート 自己評価表	森 福田 高園
	4	OSCE試験 (客観的臨床能力試験)	技術試験	技術試験	森 福田 高園
	5				森 福田 高園
	6				森 福田 高園
	7				森 福田 高園
8	技術試験リフレクション OSCE学力試験		リフレクション シート	森 福田 高園	
使用テキスト等	規定なし				
主たる参考図書・文献	規定なし				
評価方法	事前課題・演習態度・学力試験・OSCE技術試験・SP評価を総合して評価する				
学生へのメッセージ	統合実習を終え、3年間の学修の集大成の技術試験です。臨床で働く看護師をイメージして取り組んでください。				

領域横断

分野: 専門分野		科目: 看護研究 (領域横断)		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】	
担当教員	森 由紀 真田 洋子	年次・ 開講時期	3年 通年	授業形態 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習	
授業の概要	看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問、あるいは問題を科学的に探究する能力を養うと共に、看護研究の基礎を学ぶ。				
到達目標	1. 研究に関する基礎知識が理解できる 2. 研究の進め方が理解できる 3. 研究の倫理的配慮について説明できる 4. パソコンを用いて文献検索ができる 5. ケーススタディにまとめることができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	研究と実践活動 事例研究とは、研究課題について	講義		森
	2	研究の種類と特徴 研究デザイン 質的デザイン 質的研究と量的研究	講義		森
	3	研究の種類と特徴 調査方法の種類(アプリダウンロード)	講義		森
	4	事例研究の特徴 事例研究において重要なこと	講義		森
	5	研究における倫理	講義 演習		森
	6	研究デザイン、研究計画書について 文献検索	講義 演習		森
	7	研究計画書の作成	講義 演習		森
	8	事例研究の進め方	講義		真田
	9	資料収集、資料のまとめ方 著作物の引用、文献の記載方法	講義		真田
	10	理論を用いてケーススタディをまとめる	講義		真田
	11	ケーススタディ(事例のまとめ)1	演習	実習ファイル を持ってくる	真田
	12	ケーススタディ(事例のまとめ)2	演習	実習ファイル を持ってくる	真田
	13	ケーススタディ(事例のまとめ)3	演習	実習ファイル を持ってくる	真田
	14	ケーススタディ(事例のまとめ)4	演習	実習ファイル を持ってくる	真田
15	ケーススタディ(事例のまとめ)5	演習	実習ファイル を持ってくる	真田	
使用テキスト等	ナーシンググラフィカ基礎看護学④ 看護研究 【メディカ出版】 はじめて学ぶ ケーススタディ 第2版: 書き方のキホンから発表のコツまで 【総合医学社】				
主たる参考図書・文献	黒田裕子の看護研究StepbyStep 【学研】 医療従事者のための情報リテラシー【日経BP社】				
評価方法	ケーススタディ、受講態度				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野		科目: 家族看護 (領域横断)		【1単位: 15時間 授業回数: 8回】	
担当教員	森 真澄	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	家族成員の疾患や障害及び家族を取り巻く外部環境が家族システムに及ぼす影響について学ぶ。 個々の家族特性に合わせた家族の力を引き出す看護の必要性和看護展開について学ぶ。				
到達目標	1. 家族成員の健康問題および社会が家族全体に及ぼす影響について理解できる。 2. 対象者としての家族の特性を理解できる。 3. ライフサイクルに応じた家族看護の実際を理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	家族看護の特徴と理念 家族看護の対象理解① 家族とは	講義・演習		森
	2	家族看護の対象理解② 家族構造 家族機能 現在の家族とその課題	講義・演習		森
	3	家族理解するための理論と介入法 家族を理解するための理論 家族の変化を把握するための理論 家族に変化をもたらすための介入	講義・演習		森
	4	事例に基づく家族の理解 「家族の苦悩場面での思いを理解する」 ○演劇用のシナリオ作成	講義・演習		森
	5	・産褥期の家族 ・小児患者と家族 ・慢性疾患の成人患者と家族 ・終末期にある成人患者と家族 ・認知機能低下のある老年患者と家族	講義・演習		森
	6	・精神疾患のある患者と家族 ・介護が必要な療養者と家族	講義 GW		森
	7	事例に対する家族看護の検討	GW		森
	8	事例に対する家族看護方法について発表 家族看護のまとめ	発表		森
使用テキスト等	系統看護学講座別巻 家族看護学 医学書院 看護がみえるvol.5 対象の理解 I				
主たる参考図書・文献	家族看護論 第2版【医歯薬出版株式会社】 ナーシング・グラフィカ 家族看護学【メディカ出版】				
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート・グループ発表)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野		科目: 気づきのトレーニング (領域横断)		【 1単位: 30時間	授業回数: 15回	】	
担当教員	池西 静江 宮崎 亜矢子 森 真澄 服部 道枝 高園 真理子	年次・ 開講時期	2年通年	授業形態	講義	演習	
授業の概要	臨床判断能力養うために、気づきのトレーニングを段階的に学修し、「気づく」から「解釈」「反応」し行為から省察することで、臨床的な学びにつなげていく。						
到達目標	1. 今までの経験や学修に基づき、目の前の状況を知覚的に把握することができる。 2. 自己の気づきから、主体的に思考しながら行動に移すことができる。 3 シミュレーション学修を通し、臨床判断能力の向上をはかる。						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	臨床判断とは何か	講義・GW		池西		
	2	臨床判断のプロセス	講義・GW		池西		
	3	臨床現場で遭遇しやすい臨床判断を学ぶ	講義・GW	事前課題を毎回取り組むこと	高園		
	4						
	5	臨床判断の実際① 環境不応患者への対応	演習・GW		宮崎		
	6						
	7	臨床判断の実際② 心不全急性増悪の患者への対応	演習・GW		宮崎		
	8						
	9	臨床判断の実際⑤ うつ病の患者への対応	演習・GW		高園		
	10						
	11	臨床判断の実際③ 産褥期の母親の役割を知る・対応する	演習・GW		森		
	12						
	13	臨床判断の実際④ 喘息(小児)の患者への対応	演習・GW		服部		
	14						
15	まとめ 臨床判断能力の向上をめざして	講義	個人ワーク		高園		
使用テキスト等	資料配布する 講義内で参考文献は伝える。						
主たる参考図書・文献	三浦友理子 奥裕美著 臨床判断ティーチングメソッド 医学書院, 2020						
評価方法	事前課題ワーク・ワークシートによる事例展開・演習など総合的に判断します						
学生へのメッセージ							

分野:専門分野 科目:薬物療法と看護 (領域横断) 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	高園真理子 福田早苗	年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	臨床現場で多く遭遇する疾患および救急時の薬物療法について学習する。薬物の効用と副作用のバランスを考慮しながら、服薬指導・管理を検討し、患者の薬剤アドヒアランスの向上を目指す。さらに、緊急応急処置や慢性疾患管理等に必要な薬剤を中心に、薬剤使用の判断、投薬後の観察など看護技術について習得する。				
到達目標	1. 薬物療法における実践看護師としての役割を理解できる 2. 薬物治療の基礎(作用、副作用、薬物動態、相互作用機序、遺伝因子など)が理解できる 3. 事例を通じて最適な薬物療法の患者指導ができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	ガイダンス 薬物療法における看護の役割 薬物動態のプロセス	講義		高園
	2	薬物療法と看護の基礎知識 ①薬物作用と副作用 ②薬剤管理と関係法規	講義		高園
	3	特殊患者の薬物療法 (周産期・小児・高齢者) 患者の特徴と留意すべき点を踏まえた服薬指導	講義 演習		高園
	4	急性期の薬物療法 ①発熱 ②疼痛のある患者の症状コントロール	講義 演習		高園
	5	糖尿病をもつ患者の薬物療法 糖尿病をもつ患者(児)の指導	講義 演習		福田
	6	拒薬および薬の自己調整を自己判断で行う患者の服薬指導	講義 演習		福田
	7	薬物療法における安全管理と Medikation エラー エラーの起こる場面の検討	講義 演習		高園
	8	まとめ	講義		高園
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 システム看護学講座 専門分野 臨床看護総論【医学書院】 システム看護学講座 専門基礎分野 薬理学【医学書院】				
評価方法	筆記試験・事前ワーク・演習への取り組み・出席状況など総合的に評価します。				
学生へのメッセージ	パフォーマンス課題に取り組む演習を行います。事前ワークシートが必須となります。				

分野: 専門分野		科目: 周術期と看護 (領域横断)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	宮崎 亜矢子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	周術期にある対象(あらゆる発達段階)の特徴を理解し、回復過程が円滑に進むための看護の役割および援助を学修する。また、周術期にある対象および家族への看護の基盤となる主要概念や理論を学修する。				
到達目標	1. 手術を受ける対象の身体的・精神的侵襲を把握し、周術期看護の知識と看護技術を理解する。 2. 手術を受けることに伴う身体的・精神的・社会的苦痛、スピリチュアルペインを理解する。				
授業計画		授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	周術期の看護の概要	講義		宮崎
	2	術前の患者の看護①	講義		宮崎
	3	術前の患者の看護②	講義		宮崎
	4	術中の患者の看護①	講義		宮崎
	5	術中の患者の看護② 必要な防具用具の選択・着脱	講義 演習		宮崎
	6	術後の患者の看護①	講義		宮崎
	7	術後の患者の看護②	講義		宮崎
	8	術後の患者の看護③ 点滴・ドレーン等を留置している患者の 寝衣交換	講義 演習		宮崎
	9	機能障害のある患者への手術療法と看護①	講義		宮崎
	10	機能障害のある患者への手術療法と看護②	講義		宮崎
	11	手術を受ける高齢者の看護	講義		宮崎
	12	手術を受ける小児とその家族の看護	講義		宮崎
	13	緊急手術を受ける患者の看護	講義		宮崎
	14	手術を受ける患者の術前術後の経過と 看護実践の流れ①	講義 GW		宮崎
15	手術を受ける患者の術前術後の経過と 看護実践の流れ②	講義 GW		宮崎	
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 成人看護学④ 周術期看護 【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 【メディカ出版】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験)、講義時に提示した課題で総合的に評価する				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野						科目: エンド・オブ・ライフ・ケア (領域横断)		【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】	
担当教員	松崎 千鶴 服部 道枝		年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義	演習		
授業の概要	その人らしい生を支える看護としてとらえ、身体的苦痛・精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルな苦痛の緩和やコミュニケーション、家族ケア、臨死期のケア、倫理的問題の基本的な知識や考え方を養うとともに、人生の最期のときを過ごしている対象と家族の持つ力を支える看護について学ぶ。								
到達目標	1. 人生の最期のときを過ごしている対象と家族の特徴に応じた看護援助を理解する。 2. 死生観について考える。								
授業計画		授業内容		授業方法	事前学習等	担当			
	1	エンド・オブ・ライフ・ケアとは 対象者の理解①		講義		松崎			
	2	対象者の理解②		講義		松崎			
	3	緩和ケア①		講義		松崎			
	4	緩和ケア②		講義		松崎			
	5	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的課題 ①		講義 GW		松崎			
	6	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的課題 ②		講義 GW		松崎			
	7	臨死期のケア 子どもとその家族のケア		講義 GW		服部			
	8	臨死期のケア 家族のケア		講義 GW		松崎			
使用テキスト等	ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践【メディカ出版】								
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 老年看護学【医学書院】 系統看護学講座 別巻 がん看護学【医学書院】 経過別成人看護学 終末期看護: エンド・オブ・ライフ・ケア【メヂカルフレンド】								
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)で評価を行う								
学生へのメッセージ									